



北海道大学 文学部

School of Humanities and Human Sciences  
Hokkaido University



HOKKAIDO  
UNIVERSITY

# 北海道大学 文学部

School of Humanities  
and Human Sciences

2023年度 北海道大学 文学部

## 文学部長からのメッセージ

## 文学部への誘い

北海道大学文学部は、人文科学科という一つの学科から構成されています。人文科学とはなじみのない言葉かもしれませんが、英語ではhumanities and human sciencesと私たちは表現しています。つまり人文学 (humanities) と人間科学 (human sciences) の二つの分野からなっているのです。

人文学とは、哲学・歴史学・文学など、人間が行ってきた様々な知的営みを研究する分野です。これに対して、人間科学とは人間を対象としたあらゆる科学的研究の総称であり、文学部ではその中でも人間の心理や行動、集団に関する研究を行う心理学・社会学などの分野を対象としています。文学部とは決して「文学」のみを学ぶところではなく、人間について幅広く研究する場なのです。

高校で学ぶ国語・英語及び社会科のほとんどの科目の内容を文学部で深く学ぶことができますし、芸術学・宗教学・文化人類学・言語学・心理学・行動科学など高校で学習しなかった領域の勉強を始めることもできます。北大文学部では実に多様な学問分野の教育が展開されており、みなさんが関心をもてる分野が必ず見つかるはず。このような教育環境で、自分が専門とする領域を追求するだけでなく、それに隣接する、あるいはかなり離れた分野の知識も幅広く得ることができます。私たちが重視する、自分の得意な分野を深めつつ幅広い視点をも身につけるという姿勢は、日々刻々と変化していく現代社会を生き抜く上で、生涯揺らぐことのない支えとなるでしょう。

文学部で学ぶ学問は、実社会ではあまり役に立たず就職に不利ではないかと思う人もいますが、卒業論文という形で長くまとまった文章を自力で書き上げる経験はかけがえないもの。何よりも文学部で身につける広い視野と物事をじっくり考え抜く力は、これからの予想困難で複雑さを極める社会において必ず求められる能力となります。留学支援も充実しており、国際社会での活躍に向けて第一歩を真っ先に踏み出すチャンスが得られます。優れた著作を丹念に読み解き、他の人の意見を正しく理解した上で、自らの主張をわかりやすく表現する能力が培われるよう、私たち教員は学生のみなさんと日々真剣に向き合っています。

緑豊かで広大な北大キャンパスという恵まれた環境の中、興味のつきない学問に真正面から取り組みながら、自身の人間性を豊かなものにするのできる文学部という学びの場に身を置いてみませんか。



北海道大学文学部長

藤田 健 ふじた たけし

## CONTENTS

## 文学部概要

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 書香の庭                  | 03-04 |
| 人文知のユニヴァース 4コース 18研究室 | 05-06 |
| 文学部の4年間               | 07-08 |

## 各コース紹介

## 哲学・文化学コース

|                      |       |
|----------------------|-------|
| コース紹介 / 教員から / 研究室紹介 | 09-10 |
| 履修モデル / 先輩から         | 11    |
| 教員紹介 / 卒業論文テーマ       | 12    |

## 歴史学・人類学コース

|                      |       |
|----------------------|-------|
| コース紹介 / 教員から / 研究室紹介 | 13-14 |
| 履修モデル / 先輩から         | 15    |
| 教員紹介 / 卒業論文テーマ       | 16    |

## 言語・文学コース

|                      |       |
|----------------------|-------|
| コース紹介 / 教員から / 研究室紹介 | 17-18 |
| 履修モデル / 先輩から         | 19    |
| 教員紹介 / 卒業論文テーマ       | 20    |

## 人間科学コース

|                      |       |
|----------------------|-------|
| コース紹介 / 教員から / 研究室紹介 | 21-22 |
| 履修モデル / 先輩から         | 23    |
| 教員紹介 / 卒業論文テーマ       | 24    |

|           |       |
|-----------|-------|
| 卒業論文      | 25-26 |
| 留学制度      | 27-28 |
| 資格・免許     | 29-30 |
| 卒業後の進路・就職 | 31-34 |
| 大学院進学     | 35-36 |
| 研究者に学ぶ    | 37-40 |
| 入試関連情報    | 41    |
| 学生サポート情報  | 42    |
| キャンパスマップ  | 43    |

**蔵田 伸雄 教授 推薦**  
 純粋理性批判(上・下)  
 イマヌエル・カント(著)  
 石川文康(訳)  
 筑摩書房

**田口 茂 教授 推薦**  
 知恵の樹  
 一生生きていく世界は  
 どのようにして生まれるのか  
 ウェンベルト・マトゥラーナ、  
 フランシスコ・バレーラ(著)  
 菅谷次郎(訳)  
 筑摩書房

**近藤 智彦 准教授 推薦**  
 国家(上・下)  
 プラトン(著)  
 藤沢令夫(訳)  
 岩波書店

**佐野 勝彦 准教授 推薦**  
 働きたくないイタチと  
 言葉がわかるロボット  
 人工知能から考える「人と言葉」  
 川添愛(著)  
 藤沢令夫(訳)  
 朝日出版社

**宮園 健吾 准教授 推薦**  
 自然宗教をめぐる対話  
 ヒューム(著)  
 大塚元(訳)  
 岩波書店

**村松 正隆 教授 推薦**  
 笑い  
 ヘルクソン(著)  
 増田靖彦(訳)  
 光文社古典新訳文庫

**佐々木 啓 教授 推薦**  
 精神の生態学  
 グレゴリー・ペイトン(著)  
 佐藤良明(訳)  
 新思社

**林寺 正俊 准教授 推薦**  
 世界古典文学全集  
 仏典(Ⅰ・Ⅱ)  
 筑摩書房

**神和順 教授 推薦**  
 列女伝(1・2・3)  
 劉向(著)  
 中島みどり(訳注)  
 平凡社

**田村 容子 准教授 推薦**  
 中国が愛を知ったころ  
 張愛玲短編選  
 張愛玲(著)  
 濱田麻矢(訳)  
 岩波書店

**宍 雄 教授 推薦**  
 シネマ(1・2)  
 ジル・ドゥルーズ(訳)  
 法政大学出版局

**押野 武志 教授 推薦**  
 日本探偵小説を知る  
 押野武志他(編・著)  
 北海道大学出版会

# しよ 香の庭

SHOKOU no NIWA

文学部の教員が、新入生と一緒に読みたい本を紹介。多彩な教員が、皆さんをお待ちしています。

**白木沢 旭見 教授 推薦**  
 「大日本帝国」崩壊  
 加藤繁文(著)  
 中央公論新社

**谷本 晃久 教授 推薦**  
 近世風俗志  
 一守貞謨稿(1~5)  
 喜田川守貞(著)  
 宇佐美英機(校訂)  
 岩波書店

**川口 映弘 准教授 推薦**  
 王政復古  
 慶応三年十二月九日の政変  
 井上勲(著)  
 中央公論新社

**橋本 雄 教授 推薦**  
 贈与の歴史学  
 儀礼と経済のあいだ  
 榎井英治(著)  
 中央公論新社

**吉開 将人 教授 推薦**  
 わが半生  
 愛新覚羅溥儀(著)  
 小野忍(訳)

**佐藤 健太郎 教授 推薦**  
 省察すべき実例の書、  
 アラブ人、ペルシャ人、  
 ベルベル人および  
 彼らと同時代の偉大な  
 支配者たちの歴史に関する  
 説き起こしとその結末の集成  
 イブン・ハルドゥーン(著)

**村田 勝幸 教授 推薦**  
 プルシット・ジョブ  
 クンどうでもい仕事論  
 デヴィッド・グレーバー(著)  
 酒井隆史他(訳)  
 岩波書店

**山本 文彦 教授 推薦**  
 ハーメルンの笛吹き男  
 伝説とその世界  
 阿部謙也(著)  
 ちくま文庫

**小杉 康 教授 推薦**  
 神話の力  
 ジョーゼフ・キャンベル(著)  
 早川書房



**國木田 大 准教授 推薦**  
 縄文と世界遺産  
 人類史における  
 普遍的価値を問う  
 根岸洋(著)  
 筑摩書房

**小田 博志 教授 推薦**  
 エスノグラフィ入門  
 小田博志(著)  
 春秋社

**浅沼 敬子 准教授 推薦**  
 Circulating World  
 循環する世界  
 浅沼敬子(著)  
 ユニコナパブリッシング



**佐々木 亨 教授 推薦**  
 文化の「発見」  
 吉田憲司(著)  
 岩波書店

**鈴木 幸人 准教授 推薦**  
 日本その心とカタチ  
 加藤周一(著)  
 徳間書店

**瀬名 波潤 教授 推薦**  
 セルロイド・クローゼット  
 (DVD)  
 ロブ・エプスタイン&ジェリア・フリーマン(監督)  
 ヴィトルフ(原作)



**竹内 康浩 教授 推薦**  
 宮沢賢治  
 存在の祭りの中へ  
 見田宗介(著)  
 岩波書店

**戸田 聡 教授 推薦**  
 Biblia Graeca  
 (Septuaginta & Novum  
 Testamentum Graece)  
 A. Rahlfs / R. Hanhart(編)  
 Deutsche Bibelgesellschaft

**宮下 弥生 助教 推薦**  
 The Winter's Tale  
 William Shakespeare(著)

**後藤 康文 教授 推薦**  
 堤中納言物語の真相  
 後藤康文(著)  
 武蔵野書院

**野本 東生 准教授 推薦**  
 平安朝文章史  
 渡辺実(著)  
 東京大学出版会

**近藤 浩之 教授 推薦**  
 戦国縦横家書  
 大西克也・大柳敏弘(著)  
 東方書店

**中村 三春 教授 推薦**  
 フィクションの機構2  
 中村三春(著)  
 ひつじ書房

**阿部 嘉昭 教授 推薦**  
 成瀬巳喜男  
 阿部嘉昭(著)  
 河出書房新社



**水溜 真由美 教授 推薦**  
 文化と帝国主義  
 エドワード・W・サイード(著)  
 みすず書房

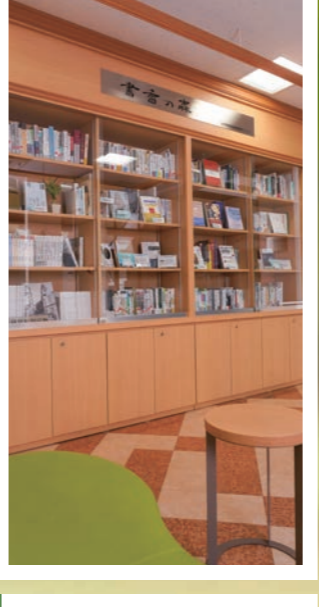
**加藤 重広 教授 推薦**  
 新訳 ソシュール  
 一般言語学講義  
 フェルディナン・ソシュール(著)  
 小林英夫(訳) / 町田健(訳)  
 岩波書店 / 研究社

**佐藤 知己 教授 推薦**  
 フェルディナン・ソシュール  
 一般言語学講義 抄  
 フェルディナン・ソシュール(著)  
 大学書林

**清水 誠 特任教授 推薦**  
 ゲルマン語入門  
 清水誠(著)  
 三省堂

**野村 益寛 教授 推薦**  
 英語の感覚・  
 日本語の感覚  
 池上嘉彦(著)  
 NHKブックス

**藤田 健 教授 推薦**  
 The Wind-up  
 Bird Chronicle  
 Haruki Murakami(著)



**菅井 健太 准教授 推薦**  
 比較で読みとく  
 スラヴ語のしくみ  
 三谷憲子(著)  
 白水社

**萬 清行 准教授 推薦**  
 古語雑談  
 佐野昭広(著)  
 岩波書店

**小川 健二 准教授 推薦**  
 脳のなかの幽霊  
 V・S・ラマチャンドラン(著)  
 サンドラ・ブレイクスリー(著)  
 山下篤子(訳)  
 KADOKAWA

**大沼 進 教授 推薦**  
 生態学と  
 社会科学の接点  
 シリーズ 現代の生態学  
 全11巻 [4]巻  
 佐竹 晴子・巖佐 庸(編)  
 共立出版

**結城 雅樹 教授 推薦**  
 信頼の構造  
 ことごと社会の進化ゲーム  
 山岸俊男(著)  
 東京大学出版会

**瀧本 彩加 准教授 推薦**  
 動物たちは  
 何を考えている？  
 一動物心理学の挑戦  
 藤田和生(著・編)  
 日本動物心理学会(監修)  
 技術評論社

**竹澤 正哲 教授 推薦**  
 協力する種  
 制度と心の共進化  
 サミュエル・ボウルズ(著)  
 ハーバート・キントス(著)  
 竹澤正哲・高橋伸幸他(訳)  
 NTT出版

**中島 晃 助教 推薦**  
 統計思考の世界  
 Mandala!  
 統計思考の世界  
 曼荼羅で読み解く  
 データ解析の基礎  
 三中信宏(著)  
 技術評論社

**櫻井 義秀 教授 推薦**  
 しあわせの宗教学  
 ウェルビーイング研究の視座から  
 櫻井義秀(編)  
 法政館

**平澤 和司 教授 推薦**  
 格差の社会学入門  
 学歴と階層から考える  
 平澤和司(著)  
 北海道大学出版会

**清水 香基 助教 推薦**  
 宗教意識の国際比較  
 質問紙調査のデータ分析  
 真鍋一史(著)  
 北海道大学出版会

**池田 透 教授 推薦**  
 日本の外来哺乳類  
 管理戦略と生態系保全  
 山田文雄(編)、池田透(編)  
 小倉剛(編)  
 東京大学出版会

**橋本 雄一 教授 推薦**  
 二訂版  
 QGISの基本と  
 防災活用  
 橋本雄一(編)  
 古今書院

**笹岡 正俊 教授 推薦**  
 東南アジア地域  
 研究入門  
 1環境  
 山本信人(監修)  
 井上真(編)  
 慶應義塾出版会

**高橋 昂輝 准教授 推薦**  
 トポフィア  
 人間と環境  
 イーファートゥアン(著)  
 小野有吾・阿部一(訳)  
 筑摩書房

**立澤 史郎 助教 推薦**  
 ソロモンの指環  
 動物行動学入門  
 コナート・ローレンツ(著)  
 日高敏隆(訳)  
 早川書房

**ラフェイ・ミシェル 教授 推薦**  
 My Lantern  
 河井道(著)

**教員の著書や美術作品を展示「書香の森」**  
 文学部のエントランスにある「書香の森」では、教員の著書が展示されており、興味のある本はすぐ近くの文学部図書室で借りることができます。北海道大学が収集・保管している美術作品の企画展示や読書会も開催され、気軽な情報交換にも活用できるスペースです。

ウェブ版「書香の森」  
 書香の森に展示されている図書と文学部発行の雑誌、企画展示について紹介する場所です。  
<https://www.let.hokudai.ac.jp/book/>



2019年度から4コース18研究室に進化  
伝統とハイブリッドの学びで究める

# 人文知のユニヴァース

## 体系的な学びで卒業論文執筆を応援

文学部の伝統的な学問分野を基礎とする4コース制にすることにより、中核となる専門分野の学修を進めながら、個々人の問題意識や関心に応じて、他分野や融合分野を学修することができ、卒業論文に向けた体系的な学修ができます。

2019年度以降は、1研究室が複数コースを担当することがなくなり、1研究室1コース制となったため、これまで以上にきめ細かく学生の履修指導を行う体制が整備されました。

### 哲学・文化学コース

*Philosophy and Cultural Studies*

哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学、博物館学から構成されています。「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、「人間はいかに生きるべきか」を考究し、人間の精神的な営みの具体的な結果としての文化現象を探求します。



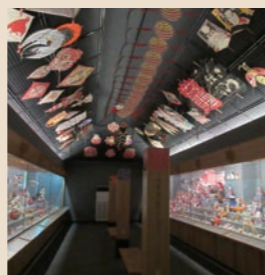
哲学倫理学研究室



宗教学インド哲学研究室



芸術学研究室



博物館学研究室

### 歴史学・人類学コース

*History and Anthropology*

世界の諸地域諸民族の社会と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法によって学ぶことを課題としています。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



日本史学研究室



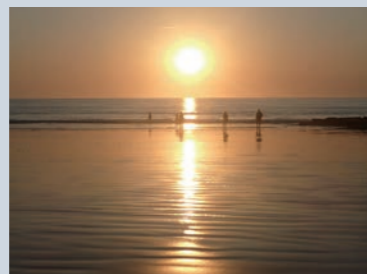
東洋史学研究室



西洋史学研究室



考古学研究室



文化人類学研究室

学びの  
特徴

一人ひとりの探究心を細やかに応援しています。

- コースの定員はなく、希望通りのコースを選択できます。
- 授業選択の自由度が高い柔軟なカリキュラムです。
- コースの途中変更も可能です。
- 学びの集大成〈卒業論文〉執筆の達成感が味わえます。



### 言語・文学コース

*Linguistics and Literature*

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。ことばの歴史と仕組みを時代・地域で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を言語・映像・情報で分析するという研究を学びます。



欧米文学研究室



日本古典文化論研究室



中国文化論研究室



映像・現代文化論研究室



言語科学研究室

### 人間科学コース

*Human Sciences*

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、実証的視点から理解することを目的としています。心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などの科目があり、実験やフィールド調査の手法について体系的に学びます。



心理学研究室



行動科学研究室



社会学研究室



地域科学研究室

# 広大な緑のキャンパスで学ぶ のびやかに成長できる文学部の4年間

## 北海道大学文学部の履修の流れ

- 1年次  
1年生全員が総合教育部に所属  
幅広い教養と外国語の基礎を習得
- 2年次  
文学部に進級、コースと研究室を選択  
専門研究の入口に立つ
- 3年次  
取り組みたい研究テーマを絞り込み  
希望者は2～4年次に留学の機会も
- 4年次  
指導教員の細やかな指導のもと  
学びの集大成「卒業論文」を執筆

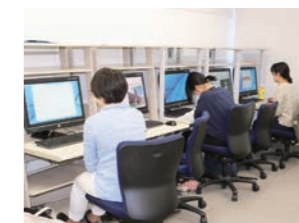


# 北大ならではの魅力 恵まれた学びの環境



## 感染対策と教育効果を 両立させた授業を実施

受講者を対面授業とオンライン授業に分けて実施するハイブリッド授業では、全員の発言を拾えるようにマイクやカメラを工夫し、授業中は換気にも気を配っています。



## 文学部学生用PC室で レポート作成や就活も

文学部生なら誰でも利用可能、学部内にしっかりPC室を確保。「時間を有効に使える」と好評です。



## 一大グリーンキャンパス 「エルムの森」

北大はJR札幌駅まで徒歩圏内、地下鉄も好アクセスのロケーション。緑のキャンパスライフは生涯の思い出に。



## 奨学金や留学制度も充実 多彩な支援で学生生活を応援

北海道大学はさまざまな場面で学生生活を多角的にサポート。みなさんのチャレンジを応援します。



## 学びに必要な資料を提供 附属図書館・文学部図書室

北大の総蔵書数は約379万冊。文学部図書室は図書約27万冊、雑誌数約5100種を豊富に取り揃えています。



## 研究室で深まる信頼関係 生涯の友と出会う研究室

一生モノの出会いが待つ研究室は心身ともに「居場所」となる空間。旅行や北大名物「ジンパ」など研究室独自の行事も充実!

## キャンパスカレンダー

|     | 4月   | 5月 | 6月                                       | 7月                                      | 8月         | 9月  | 10月 | 11月 | 12月  | 1月         | 2月                            | 3月                            |  |     |
|-----|--|----|--|---|------------|---|-----|-----|--|------------|-------------------------------|-------------------------------|--|-----|
| 入学前 |  |    |  |   | ●オープンキャンパス |   |     |     |  | ●大学入学共通テスト | ●一般選抜前期日程                     | ●前期日程合格発表<br>●一般選抜後期日程・合格発表   | 入学前  |     |
| 1年次 | ●入学式<br>文学部は1～4組に、文系総合は14～15組に所属。<br>●履修登録<br>指定された単位を修得するように選択登録。毎年4月と10月に行う。 |    | ●大学祭<br>クラス・サークルごとの模擬店やさまざまなイベントがもりだくさん。 |   |            | ●第1回履修コース説明会<br>4コースの説明を聞いた上で、各研究室を実際に訪問。自分の関心と合うかどうかを検討し始める。 |     |     |  |            |                               | ●第2回履修コース説明会<br>コースと研究室を絞り込む。 | ●文学部移行・コース確定<br>全員が希望コースへ。                                   | 1年次 |
| 2年次 | ●2年次進級式・ガイダンス<br>文学部での学生生活の始まり。学修に関するガイダンスが開かれる。                               |    |  |   |            | ●合宿<br>研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。                            |     |     |  |            |                               |                               | ●合宿<br>研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。                           | 2年次 |
| 3年次 |  |    |  |   |            |   |     |     |  |            |                               |                               | ●就職ガイダンス<br>就職に関する情報を得るガイダンス。<br>●第2回大学院進学説明会                | 3年次 |
| 4年次 | ●卒論指導教員の決定   |    | ●教育実習<br>教員免許を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。    | ●博物館実習<br>学芸員資格を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。 |            | ●大学院入試(前期)  |     |     | ●卒論題目届を提出<br>指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。論文作成もいよいよ追い込みへ。 | ●卒論提出      | ●卒論口述試験<br>試験の内容はコース・研究室で異なる。 | ●大学院入試(後期)                    | ●卒業決定者発表<br>●学位記授与式<br>学位「学士(文学)」を授与。<br>●卒業祝賀会<br>文学部同窓会主催。 | 4年次 |

# 哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies



## 人間の精神と、 その営みの本質に迫る。

哲学・文化学コースは、哲学、倫理学、宗教学、インド哲学・仏教学、芸術学、博物館学といった専門分野から、思想と文化の根源に迫ります。古代から現代までの人類の思索の跡をたどりながら、「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、人類の普遍的なテーマである「人間はいかに生きるべきか」を考究していきます。さらに人間の精神的な営みによって創造された具体的な結果としての文化現象を探求します。



### 哲学倫理学研究室

長い歴史をもつ哲学・倫理学の知を学ぶと共に、現代世界に差し迫った思想的諸問題について考えていきます。



### 宗教学インド哲学研究室

宗教学・宗教史学、新約聖書学、死生学、仏教学、インド哲学などに関連する事柄について深く学ぶことができます。



### 芸術学研究室

ひとつの芸術作品に織り込まれている思想、歴史、他者との関係、個人の心情など多様な要素を読解することが芸術学の課題です。



### 博物館学研究室

ミュージアム（博物館・美術館・動植物園など）の歴史とあるべき姿を、コレクションとマネジメントの調査から探求して行きます。

### 教員から

## 「変革」を求める前に —基礎固めとしての思想・文化探求

宗教学インド哲学研究室 眞鍋 智裕 准教授

現代は新しいもの、変革が必要とされ、もてはやされている時代です。それは思想・宗教・芸術分野においても例外ではありません。しかし、古来「温故知新」という言葉があるように、新しい思想的・文化的価値を生み出すには、同時代人を含めた先達たちの思想的・文化的営為を探求する必要があることでしょう。ところが変革を是とする現代社会においては、この探究に対する十分な時間が確保できません。そのようななか、大学時代はこの思想的・文化的営為の探求にじっくりとうちこめる唯一の時期です。皆さんも「変革」を求める前に、じっくりと基礎固めに取り組んでみませんか。



先輩から

文化芸術の背景を知り、作品と自分を理解する

哲学・文化学コース 4年生 三田尾 有希子 さん

美術鑑賞が好きで本コースを選択しましたが、ここには「好き」を原動力にどんな興味・関心をも突き詰めていくことのできる環境があります。人間が作り出す文化芸術は、思想のみでなく、歴史や政治、他の文化表現など複雑で多様な背景のもとに成り立っています。これを理解し、別々の講義で学ぶ内容ひとつひとつが繋がっていることを実感できたとき、その面白さに心躍るようになりました。

私は現在、「美」に対する問いかけの歴史を学ぶとともに実際の絵画作品について調査し思案する練習を重ねています。「芸術や哲学は果たして必要か」という問いに自分なりの答えを見つけることが、ひとつの目標になっています。記されたことばや実際の作品について、資料を読み、考察を深め、議論を行い、視野を広げて再び対象に立ち返るとき、作品への理解だけでなく自分自身の存在が一段深まるような感覚を覚えるはず。哲学・文化学コースで、そうした飽くなき思索の旅へと共に出発してみませんか。



(2021年5月、3年時に取材)

コースの授業例

古典から現代までの文献を講読して  
思想と文化についてとことん考え抜く一週間。

|   | MON                | TUE                | WED                | THU                                  | FRI                  |
|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------------------------|----------------------|
| 1 |                    |                    | 博物館概論<br>博物館概論     | 博物館資料論<br>博物館資料論                     |                      |
| 2 | 哲学<br>チューリングの思考を辿る | 哲学<br>心理学の哲学       | 宗教学演習<br>宗教学基礎文献講読 | 哲学概論<br>哲学の基本的諸問題                    | 芸術学<br>聖堂・修道院と美術     |
| 3 | 芸術学演習<br>美学研究の基礎   | 芸術学概論<br>近現代美術の諸問題 |                    | ミュージアム・スタディーズ概論<br>日本絵画史研究<br>— 絵画の場 | インド哲学仏教学<br>ヒンドゥー教入門 |
| 4 | 宗教学概論<br>現代宗教論     | 倫理学<br>環境倫理学入門     | 哲学演習<br>西洋哲学史基礎演習  | 西洋哲学史概説<br>近現代哲学史                    |                      |
| 5 |                    |                    | 仏教学概論<br>仏教学入門     |                                      |                      |

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ プラトン、デカルト、カントなど西洋哲学史の基礎文献を読む。学生の問題提起によって議論が発展することも。[哲学演習]



▲ 宗教学の欧文文献を講読。少人数の演習では学生も積極的に発言する。[宗教学演習]



▲ 画像資料も活用しながら、美術作品を宗教・歴史・社会的文脈から考察。[芸術学]



▲ この2単位を含め、所定の19単位を修得し卒業すると学芸員資格がとれる。[博物館概論]

研究室・教員・卒業論文テーマ

哲学倫理学研究室

蔵田 伸雄 教授 KURATA Nobuo  
■ 研究分野  
応用倫理学、規範倫理学・メタ倫理学、西洋近現代哲学(特にカント)

近藤 智彦 准教授 KONDO Tomohiko  
■ 研究分野  
古代ギリシア・ローマ哲学、倫理学

ヤコプス ケリン アルテミス 特任准教授 JACOBS Kerrin Artemis  
■ 研究分野  
実践哲学と文化省察

田口 茂 教授 TAGUCHI Shigeru  
■ 研究分野  
西洋近現代哲学(特に現象学)、近代日本哲学、意識の学際的研究

佐野 勝彦 准教授 SANO Katsuhiko  
■ 研究分野  
論理学(特に非古典論理、哲学的論理学)

野村 恭史 助教 NOMURA Yasushi  
■ 研究分野  
現代分析哲学

村松 正隆 教授 MURAMATSU Masataka  
■ 研究分野  
近現代フランス哲学、近現代倫理学

宮園 健吾 准教授 MIYAZONO Kengo  
■ 研究分野  
心の哲学、心理学の哲学、精神医学の哲学、美学、認識論、近世哲学

【卒業論文テーマ例】

- ヘーゲルにおける「物自体」概念の深化 -カント哲学の根本問題への応答-
- 被害者実名報道をめぐる報道倫理とプライバシー権の問題 -京アニ事件を中心に-
- 〈生命〉と〈笑い〉-ヘルクソン『笑い』が見ないもの-
- アリストテレスにおける「観想に似るもの」としての実践
- ストリートの進化論的暴露論とその回避について -追跡説の擁護可能性の検討-
- 純粋経験を「知る」ことは如何にして可能か -西田幾多郎の純粋経験論についての一考察-
- 条件文はどのように信念として受け入れられるか?
- 〈身振り〉の地平へ-ジェロム・アガンベンにおけるgesto概念-
- 型の機能からみたCurry-Howard同型の技術的・概念的背景について
- 抵抗する「使用」-セルト-の〈散種〉ミシェル・ド・セルト-「日常生活の創発性」をめぐって
- 行為記述と非難-「嘘」の二面性と非難用語としての再定義
- 「差異」の承認-「上から」多様性を提唱することの問題点-

宗教学インド哲学研究室

佐々木 啓 教授 SASAKI Kei  
■ 研究分野  
新約聖書学、宗教学

真鍋 智裕 准教授 MANABE Tomohiro  
■ 研究分野  
インド哲学、インド哲学史

【卒業論文テーマ例】

- 近代日本における国家神道の宗教性
- 水子供養の宗教学的分析
- 日本における動物供養と日本人の動物観について
- 仏教における「恩」思想の研究
- 宮澤賢治作品にみる死生観-境界に生きる
- 『プリハット・サンヒター』における前兆占いの研究
- 『阿毘達磨俱舍論』における業の研究
- タラル・アザドにおける宗教概念

芸術学研究室

谷古宇 尚 教授 YAKOU Hisashi  
■ 研究分野  
西洋美術史(イタリア美術史)

浅沼 敬子 准教授 ASANUMA Keiko  
■ 研究分野  
現代美術史

【卒業論文テーマ例】

- 江戸時代花鳥画に描かれた鳥の同定
- アメリカ亡命時代のシャガールによる舞台美術作品の考察-〈アレコ〉を中心に-
- 〈東京帝室博物館本館〉の屋根に関する考察
- 高松次郎の文字作品についての考察
- グスタフ・クリムトにおける日本美術の理解とその反映について
- 日本におけるミュシャ受容-ミュシャ様式に託した青少年の揺れる心と幻想-

博物館学研究室

佐々木 亨 教授 SASAKI Toru  
■ 研究分野  
博物館学、文化人類学

久井 貴世 准教授 HISAI Atsuyo  
■ 研究分野  
動物に関する歴史と文化、博物館学、歴史鳥類学

【卒業論文テーマ例】

- 日本のエコミュージアム概念の拡張・発展に関する考察-リヴェールの理念に立ち返って-
- 江戸時代におけるエジシカの利用-アイヌおよび和人社会の事例を中心に
- 日本の博物館の発展における渋沢敬三が果たした役割についての考察
- 絵金の芝居絵屏風についての考察
- フォントが展示解説パネルの文章に及ぼす影響に関する研究-可読性と判読性を基準に-
- 世阿弥の藝能論における「風」の位置付け

# 歴史学・人類学コース

History and Anthropology



## 人類の歴史を学び、現代世界を理解する

歴史学・人類学コースは、世界のさまざまな地域における人類の歴史と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法を通して学んでいきます。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



### 日本史学研究室

古代・中世・近世・近現代のスタッフが揃い、研究テーマは自由に選ぶことができます。時代別の自主ゼミも活発です。



### 東洋史学研究室

中国（漢字文化圏）と中東イスラーム地域（アラビア語・ペルシア語・トルコ語文化圏）の歴史を研究しています。



### 西洋史学研究室

古代から現代にいたる時代のヨーロッパの歴史、およびアメリカの歴史を様々な視点から広範囲に研究します。



### 考古学研究室

考古学はモノ（遺物や遺跡など）の研究によって、文字に記録されなかった歴史を再構成する学問です。

## 教員から

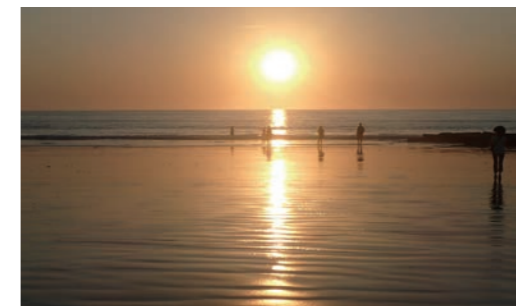
### 歴史の研究は史料から ——自らの手で問題を解き明かす喜び

日本史学研究室 橋本 雄 教授

「歴史が好き」という学生が、しばしば我々の研究室に進学してきます。ただし、そこで彼ら彼女らの念頭にあるのは、ほぼ例外なく高校までの「歴史」。要するに、誰かが作ったストーリーをなぞるものに過ぎません。一方、我々が大学でやっている「歴史」は「歴史学」。高校までの「歴史」とは違って、新たな仮説を創造する、熱い (!) 研究分野です。もちろん、手前勝手なやり方では説得力がありません。長い伝統のなかで培われた学問独特の作法があります。そのなかでも一等難しいのが、史料（資料）の扱い方。いわゆる史料批判ですね。その作法を習得するのが、大学での歴史研究といっても過言ではありません。新たな知見の獲得に成功したときの喜びを、一緒に味わってみませんか。



高知県立紙産業技術センターで古文書料紙復元の実験中



### 文化人類学研究室

この地球の上で人類は多様な文化を形作ってきました。文化人類学では文化多様性を研究者が現場に身をおきながら明らかにします。



先輩から

人類はいかに困難を乗り越えてきたかを問う

歴史学・人類学コース 4年生 原田 拓弥 さん

インターネットが世界を席巻して以降、社会は大きく変わりましたが、現在私たちが直面している多くの難局は、過去の歴史の中にも大なり小なり存在していました。私はそうした難局を過去の人類はどのように乗り越えてきたのか、という関心から歴史学・人類学コースを選び、その中でも中国史を研究しています。大学で学ぶ歴史学では、“通説”以外にもさまざまな学説を知ることができます。最新の研究や知見、動向から多様な考え方を知るのとはとても楽しく、一つの考えに固執しないで物事を見ることは非常に重要だと思います。

私の研究対象である中国も、その長い歴史の中で幾度となく困難に直面し、その度に変化を遂げる固有の歴史を歩んでいます。隣国である我が国にも大きな影響を及ぼしており、時に親近感を覚える点も中国史研究の面白さです。将来は教員志望ですので、今の自分がそうなれたように多様な視点を持てる人材教育に尽力できたらと思っています。自分を成長させる意味でも、ぜひ本コースと一緒に歴史学を学びましょう。



(2021年5月、3年時に取材)

コースの授業例

世界各地、各時代を構成する人々の営みを史資料を通して追求する。

|   | MON                    | TUE                       | WED                   | THU                | FRI                      |
|---|------------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|
| 1 |                        |                           |                       |                    |                          |
| 2 | 日本史学演習<br>近代日本の歴史と文化   | 日本史学概論<br>日本史学研究法         | 日本史学<br>日本近世史の諸問題     | 東洋史学<br>中国・ベトナム関係史 | 日本史学<br>室町・戦国期の日本とアジア    |
| 3 | 東洋史学演習<br>中東イスラーム史の諸問題 | 西洋史学演習<br>アメリカ史研究のバリエーション | 考古学概論<br>理論と方法        | 西洋史学概論<br>西洋史入門    | 東洋史学<br>宋代の政治と社会         |
| 4 | 西洋史学演習<br>古代ローマ史       | 考古学<br>文化財の保存と活用          | 文化人類学演習<br>エスノグラフィー入門 | 西洋史学<br>文化史研究の射程   | 考古学演習<br>考古学の基礎技術(土器研究法) |
| 5 |                        |                           |                       |                    |                          |

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 考古学の理論と方法を学ぶ。[考古学概論]



▲ 18～19世紀の中国・ベトナム関係史を、グエン朝成立史を中心に講義する。[東洋史学]



▲ 室町時代の日明勘合貿易について、丁寧かつ大胆な仮説を描き出す。[日本史学]



▲ 「文化」概念の変遷に注目しながら、19世紀から現在にいたる文化史研究の軌跡を描く。[西洋史学]

研究室・教員・卒業論文テーマ

日本史学研究室

権 錫永 教授 *KWEON Seok-Yeong*  
■ 研究分野  
日本近代思想史、植民地朝鮮文化史

白木沢 旭兎 教授 *SHIRAKIZAWA Asahiko*  
■ 研究分野  
日本近現代史、日本経済史

谷本 晃久 教授 *TANIMOTO Akihisa*  
■ 研究分野  
日本近世史、北海道地域史

橋本 雄 教授 *HASHIMOTO Yu*  
■ 研究分野  
日本中世史、東アジア海域史

川口 暁弘 准教授 *KAWAGUCHI Akihiro*  
■ 研究分野  
日本近代史、明治憲法史

【卒業論文テーマ例】

- 明治初期開拓使工場の労働
- 在満州日本人教育における「現地適応主義」
- 後花園天皇の皇統に関する研究
- 平秩東作「東遊記」と天明期幕府の蝦夷地調査
- 陸軍教育総監部の研究
- 大正期外務省の「対外宣伝」
- 兵士と當舎
- 日本古代における律令制と祭祀
- 本所七不思議
- 有徳銭の歴史的的位置付けについて

東洋史学研究室

佐藤 健太郎 教授 *SATO Kentaro*  
■ 研究分野  
中東イスラーム史(特に西地中海地域)

吉開 将人 教授 *YOSHIKAI Masato*  
■ 研究分野  
秦漢史、中国近現代史、中国民族問題

梅村 尚樹 准教授 *MEMURA Naoki*  
■ 研究分野  
宋代社会史、思想史

【卒業論文テーマ例】

- 一九三〇年代漢口の対外貿易と鉄道網の整備
- 宋慶齡の女性論
- Tezâkirから見るオスマン朝の近代警察機構の形成
- 清代雍正年間河南省における耗羨の帰公と省経費
- 魏晉南北朝時代の呉興の豪族施氏について
- 領域国家期のシュメール都市国家アダブにおける対外交流

西洋史学研究室

砂田 徹 教授 *SUNADA Toru*  
■ 研究分野  
古代ローマ史

長谷川 貴彦 教授 *HASEGAWA Takahiko*  
■ 研究分野  
近現代イギリス史、歴史理論

松嶋 明男 教授 *MATSUSHIMA Akiyo*  
■ 研究分野  
近現代フランス史

村田 勝幸 教授 *MURATA Katsuyuki*  
■ 研究分野  
アメリカ史、アメリカ研究

山本 文彦 教授 *YAMAMOTO Fumihiko*  
■ 研究分野  
ドイツ中世・近世史

【卒業論文テーマ例】

- 第一次世界大戦前後のセネガルにおけるフランス植民地統治
- リドレス運動期以降の日系アメリカ人を中心としたアジア系の連帯
- ローマ帝政期小アジアにおける恵与(エヴェルジェティズム)
- ユーゴスラビア内戦時のボスニアにおけるナショナリズムの引力
- 19世紀ロシア帝国における高等教育と女性たち
- 古代ローマの辺境要塞における兵士-ウインドランダ木板書簡から-
- 「女性の権利」のグローバルヒストリー-GHQの占領政策と日本国憲法-
- 公民権運動後のアメリカにおける黒人文化をめぐるせめぎ合い
- カール4世のペーメン王国支配と聖ヴァーツラフ
- クヌートのイングランド統治をめぐる諸問題

考古学研究室

江田 真毅 教授 *EDA Masaki*  
■ 研究分野  
動物考古学、文化財科学

小杉 康 教授 *KOSUGI Yasushi*  
■ 研究分野  
考古学、物質文化論、民俗誌考古学

高瀬 克範 教授 *TAKASE Katsunori*  
■ 研究分野  
考古学、植物考古学

國木田 大 准教授 *KUNIKITA Dai*  
■ 研究分野  
考古学、文化財科学

高倉 純 助教 *TAKAKURA Jun*  
■ 研究分野  
考古学、文化財科学

中澤 祐一 助教 *NAKAZAWA Yuichi*  
■ 研究分野  
考古学、人類進化史

【卒業論文テーマ例】

- 古代東北地方における宝相華文軒丸瓦の研究
- 北海道豊浦町礼文華遺跡における石器の研究
- 北海道域からアムール川下流にかけての人体形造形について
- 縄文後晩期における東部瀬戸内の植物利用の変遷
- 札幌市N434遺跡出土の炭化種子の研究
- 礼文華遺跡出土恵山3式土器の技術論的研究

文化人類学研究室

小田 博志 教授 *ODA Hiroshi*  
■ 研究分野  
人類学、平和研究、自然-人間関係、生命論、エスノグラフィー論

コーカー ケイトリン クリステーン 准教授 *COKER Caitlin Christine*  
■ 研究分野  
人類学、身体化論、パフォーマンス研究、情動論

山口 未花子 准教授 *YAMAGUCHI Mikako*  
■ 研究分野  
人類学、自然誌、動物論、狩猟研究、北米先住民研究

【卒業論文テーマ例】

- 現代短歌の人類学
- 盲ろう者と過ごす場所
- 平取町に息づく「義経伝説」
- 学生自治会という共同体
- 「援助」「開発」「発展」の新たな形
- 「赤と黒」の応援者たち-プロサッカーチームの応援が織り成すサポーターの関係性-

# 言語・文学コース

Linguistics and Literature



## ことばを通して 人間を理解する

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。言語・文学コースでは、ことばの歴史と仕組みを時代（古典から現代まで）・地域（日本・中国・西洋）で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を各種メディア（言語・映像・情報）で分析する授業が展開されます。



### 欧米文学研究室

西洋古典文学・フランス文学・英語圏文学を読みながら、語学だけでなく広く文化表象を読み解くリテラシーを高めます。



### 日本古典文化論研究室

上代・中古・中世・近世の文学および文化を対象とし、多様な視点から理解をめざします。



### 中国文化論研究室

中国の思想、言語、文学などをはじめ、中国および漢字文化圏に関する幅広いテーマを学習・研究することができます。



### 映像・現代文化論研究室

日本の近代・現代の文学全般、日本および世界の映画を中心として、広く現代の映像・表象・思想を理論的・具体的に追究します。



### 言語科学研究室

言語の科学としての言語学の方法論で、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、アイヌ語などを深く学びます。

## 教員から

### 本を開くことは世界への扉を開くこと ——異文化に触れる喜び

映像・現代文化論研究室 小川 佐和子 准教授

小説や舞台、映画、アニメ、漫画を読んで、見て、感動したり、あるいはシラけたりしたとき、その心の触感を掘り下げていくのが本コースです。母語と外国語の仕組み、日常会話から時空間の越境まで、作品や言語を通じて人々のささやかな営みと世界や文化といった大きな枠組みを同時に視野に入れて探求していきます。作品分析とその背景知識、諸言語と思想・文化を専門的に学んで価値観を相対化し、好きな作品や苦手だけれど気になる作品の大海に、一緒にもぐってみませんか。うまく泳ぐのも、地上から眺めるのも、ときには溺れても、世界を知るための大切な体験となるでしょう。



バラジャーノフの映画の舞台を訪ねてアルメニアの山奥へ

先輩から

人を人たらしめる言語・文学の魅力に没入

言語・文学コース 4年生 葛本 蒼太郎 さん

日本では東欧の国々に関する知識が乏しく、特に旧ソ連諸国には、好意的なイメージを抱いている人は少数派のように思われます。私はスラブ諸語や各国の文化・歴史をしっかりと学び、このような日本の現状を変えることに少しでも役立つ存在になりたいと考えています。言語や文学というものは、人間を人間たらしめる最も重要な要素の一つと言えるでしょう。言語・文学コースではこの大きな枠組みの中から、自分の関心が赴くままに自由に研究をすることができます。

ロシア語などの外国語の授業では先生から丁寧な指導を受けられますし、能動的に授業に参加できるため、語学力の飛躍的な向上につながります。私の専門はスラブ諸語の比較研究です。例えば、ブルガリア語で направо は「まっすぐに」という意味ですが、同じ単語でもロシア語では「右へ」という意味になります。近いようで遠いスラブ諸語からそれぞれの親縁性を発見することに、スラブ語学研究ならではの醍醐味を実感しています。



(2021年5月、3年時に取材)

コースの授業例

ことばの歴史と仕組みに向き合いながら探求したい文学研究を盛り込む事も可能。

|   | MON                     | TUE                     | WED                   | THU                | FRI                  |
|---|-------------------------|-------------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|
| 1 |                         |                         |                       |                    |                      |
| 2 | 中国思想史概説<br>中国思想史の多角的な研究 | 国語学概論<br>日本語の時代的変遷      | 言語学概論<br>言語学の基礎       | 西洋文学<br>古代ラテン語文法   | 日本文学概論<br>平安朝仮名散文学概論 |
| 3 | 国語学<br>日本語方言学           | 西洋言語学演習<br>ロマンス語学研究的発展  | 日本文学演習<br>遊女を描いた小説を読む | 映像表象文化論<br>映画史     | 英米文学<br>英米の短編小説      |
| 4 | 日本文学史概説<br>異界の文学史       | 西洋文学概論<br>モニュメントとフランス文学 | 中国語学概論<br>中国文学探検行     |                    |                      |
| 5 |                         |                         | 英語学概論<br>英語の構造と意味     | 言語学演習<br>意味・統語論の基礎 |                      |

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲緊張感あふれる演習でフランス語の読解力が向上。  
[西洋言語学演習]



▲ギリシア語・ラテン語を習得すると、何を学ぶにも深みが増す。  
[西洋文学]



▲映画と芸術の交流について、映画史のさまざまな観点から横断的に理解を深める。  
[映像表象文化論]



▲平安朝仮名散文学の奇跡と様相を物語を中心に概観する。  
[日本文学概論]

研究室・教員・卒業論文テーマ

欧米文学研究室

瀬名波 栄潤 教授 *SENAHA Eijun*  
■研究分野  
英米文学、英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究

竹内 修一 教授 *TAKEUCHI Shuichi*  
■研究分野  
フランス現代文学

竹内 康浩 教授 *TAKEUCHI Yasuhiro*  
■研究分野  
アメリカ文学

戸田 聡 教授 *TODA Satoshi*  
■研究分野  
古典文献学、古代キリスト教史

宮下 弥生 助教 *MIYASHITA Yayoi*  
■研究分野  
Shakespeare劇、物語理論、中世英語英文学

【卒業論文テーマ例】

- Ghosts and Sounds in Carson McCuller's *The Member of the Wedding*
- Walden as the Philosophical Bible of Life
- イワン・ツルゲーネフ「初恋」再読
- "Nothing stands still, except in our memory": Saving Shelter in Philippa Pearce's *Tom's Midnight Garden*
- タチヤーナ・トルスタヤ論
- 虚構としての戦争とその語り-ロシアの戦争短編小説から考える-
- To Live Next to Death: Fragments of the War in J.D. Salinger's *The Catcher in the Rye*
- Illusive Hope: Symbolism of Mutability in the World of Kazuo Ishiguro

日本古典文化論研究室

金沢 英之 教授 *KANAZAWA Hideyuki*  
■研究分野  
上代文学

後藤 康文 教授 *GOTO Yasufumi*  
■研究分野  
平安時代物語文学

野本 東生 准教授 *NOMOTO Tosei*  
■研究分野  
中世説話文学

【卒業論文テーマ例】

- 『土佐日記』研究
- 平田篤胤の幽霊思想
- 明恵上人と『夢記』-冥顯論と春日明神をめぐる-
- 『古今和歌集』「四季歌」の研究
- 中世文学における怪異譚-『今昔物語集』卷二十七第三十一話を中心に-
- 近松瑠璃の研究-「丹波与作待夜の小屋節」と歌舞伎の関連-

中国文化論研究室

近藤 浩之 教授 *KONDO Hiroyuki*  
■研究分野  
中国古代思想、易学思想史

弐 和順 教授 *YUHAZU Kazuyori*  
■研究分野  
中国古代学術思想

田村 容子 准教授 *TAMURA Yoko*  
■研究分野  
中国演劇、中国文学

【卒業論文テーマ例】

- 『論語と算盤』における『論語』解釈-原義と現代的意義
- 『金瓶梅詞話』における女性と飲酒
- 『墨子』における鬼神について
- バンドを考える
- 『元秘抄』にみる菅原氏の生存戦略
- 革命現代京劇『海港』論

映像・現代文化論研究室

阿部 嘉昭 教授 *ABE Casio*  
■研究分野  
映画・サブカルチャー研究、詩歌論

応 雄 教授 *YING Xiong*  
■研究分野  
映像表象論

押野 武志 教授 *OSHINO Takeshi*  
■研究分野  
日本近代文学、表象文化論

中村 三春 教授 *NAKAMURA Miharu*  
■研究分野  
日本近代文学、比較文学、表象文化論

水溜 真由美 教授 *MIZUTAMARI Mayumi*  
■研究分野  
日本近現代思想史、ジェンダー研究

小川 佐和子 准教授 *OGAWA Sawako*  
■研究分野  
映画史、音楽劇研究

【卒業論文テーマ例】

- 鈴木清順監督作品における「宙吊り」論再考
- 教師と生徒の恋愛ドラマ論-野島伸司「高校教師」と遊川和彦「魔女の条件」を中心として-
- 第一次世界大戦を題材にした英国戦争記録映画-観客の需要と制作意図について-
- 宮澤賢治「春と修羅」論-テキストの二重性-
- 阿部共実研究
- 井上ひさし「ムサシ」論
- 穂村弘論
- 道尾秀介論
- ジョージア映画におけるモチーフ論
- ジェンダフリーパッシングと性教育
- アニメにおけるコンピュータグラフィックス化
- 江戸川乱歩の変格探偵小説研究

言語科学研究室

李 連珠 教授 *LEE Yeonju*  
■研究分野  
韓国語学、言語学、日本語学、音声学

加藤 重広 教授 *KATO Shigehiro*  
■研究分野  
言語学、日本語学、語用論

佐藤 知己 教授 *SATO Tomomi*  
■研究分野  
言語学、アイヌ語、北方言語

清水 誠 特任教授 *SHIMIZU Makoto*  
■研究分野  
ドイツ語学、ゲルマン語学

野村 益寛 教授 *NOMURA Masuhiko*  
■研究分野  
英語学、認知言語学、意味論

藤田 健 教授 *FUJITA Takeshi*  
■研究分野  
フランス語学、ロマンス語学、統語論

菅井 健太 准教授 *SUGAI Kenta*  
■研究分野  
ロシア語学、スラブ語学

葛 清行 准教授 *TSUTA Kiyoyuki*  
■研究分野  
国語学、文献学、歴史言語学

【卒業論文テーマ例】

- 日本語とフランス語における読み上げ音声の対照研究
- ツッコミ型表現の語用論的考察-「〜か」を中心に
- 札幌方言形容詞アクセントのゆれの様相-若年層を対象に-
- Relationship between Musical Ability and Differentiation of English Pronunciations
- Inter-lingual Differences in Sound-symbolic Effects in Pokémon Names and the Influence of Word-initial Consonants
- 現代日本語における類義形容詞の研究
- Yes-No疑問文への返答システム:イタリア語と日本語の事例から
- 現代日本語における慣用句の変化-二つのパターンを対照して-
- The Meaning of the Progressive Form of Verbs of Attitude in SNS and the Spoken Data of Corpora
- A Comparative Study of Figurative Expressions Used in Tanka between the Japanese Originals and the English Translations
- ドイツ語のオノマトペについて
- 札幌方言の数詞のアクセント
- 借用語から見る「形容動詞」
- 北海道千歳方言のアクセントについて
- ドイツ語命令文における心態詞について
- スペイン語の前置詞paraとporについて

# 人間科学コース

Human Sciences



## 人間の行動や 社会のしくみを解き明かす

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、  
実証的視点から理解することを目的としています。

心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などに  
関連する多彩な科目が用意されているほか、  
実験、調査、研究方法などは必修となっており、  
社会と心の実態に迫るための手法を身につけます。



### 心理学研究室

実験・調査によって収集したデータの分析に基づいて、人間の行動や、それを司る脳機能の仕組みを実証的視点から学びます。



### 行動科学研究室

社会心理学・進化心理学・文化心理学・行動経済学・神経科学・比較認知科学などを通じて、人や動物の心と社会との関わりを学びます。



### 社会学研究室

社会の仕組みとその変化を、個人との関係から読み解いていくのが社会学で、その方法（聞き取りや大規模調査など）も学びます。



### 地域科学研究室

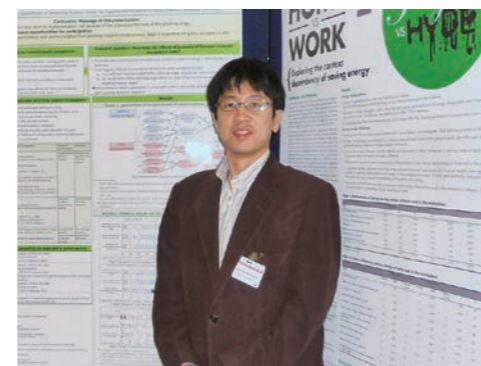
地域社会学・人文地理学・社会生態学の三分野をベースに、フィールドワークを中心として、地域の多様な問題への学問的アプローチについて学びます。

### 教員から

人と社会の相互関係を学ぶなら、  
日本ではダントツの教育研究環境

行動科学研究室 大沼 進 教授

人と社会の相互関係を理解することは、人文・社会科学の究極の目標の一つといえます。人間科学コースでは、社会心理学、心理学、社会学、地理学、社会生態学、地域科学、認知科学、行動科学など、人と社会の関係に関する実証研究の最先端を学べます。このコースを担う研究室は、ここ10年余で文科省が推進する多くの主要な大学院教育改革プログラム（21世紀COE、グローバルCOE、卓越した大学院教育拠点形成など）の拠点として選定され、成功例として高い評価を得てきています。ここにいれば、学部生のうちから、最強のスタッフ陣とともに、単に教科書を学ぶだけでなく、教科書を書き換えるほどの研究活動に加わることができます。



先輩から

自分を、他者を、そして人間を知りたいあなたへ

人間科学コース 3年生 白鳥 茉衣 さん

人間科学コースでは「人間」と「社会」をテーマに、実験や調査で得られたデータを分析し、その仕組みを研究していきます。私は「自己を理解したい」という思いから、心理学研究室を選びました。自身の感情を見つめ直してみると複雑でわからない部分が多くありますが、そうした人間の心の不思議さはとても魅力的だと思います。現在、私は音楽心理学を専攻しており、特に音楽による感動に興味を持っています。何かに心を動かされるという経験は誰も持っていると思いますが、音楽を聴いたときの感動はその後の人生をも変える力を持っていると感じています。音楽心理学は、「音楽」を「学問」という観点から捉えられる奥の深い研究領域です。

今後は大学院に進学し、音楽に関わっていききたいと考えています。常に新鮮な目線で世界を見つめ、楽しみながら研究を続けていけるような自分を目指しています。大学での学びは何より楽しく、今興味を持って取り組んでいることはどれも今後に繋がっていくはず。自分を、他者を知りたい、そして人間という存在を知りたい方は、ぜひ人間科学コースでその関心を追いかけてみてください。



(2022年5月、3年時に取材)

コースの授業例

実験や調査、データ解析を通じて課題を解明。文献読解やプレゼンでコミュニケーション力もUP。

|   | MON                      | TUE                  | WED                    | THU                | FRI                       |
|---|--------------------------|----------------------|------------------------|--------------------|---------------------------|
| 1 |                          |                      |                        |                    |                           |
| 2 |                          | 心理学概論<br>心理学の基礎知識    | 心理学研究法<br>心理学のためのデータ解析 | 社会学演習<br>教育と階層の社会学 | 比較地域社会学<br>グローバル化時代の環境社会学 |
| 3 | 行動科学実験実習<br>行動科学のための基礎実験 | 認知科学<br>進化した心、進化する文化 | 地域科学演習<br>空間情報と地理学     | 認知心理学<br>感覚と知覚     | 社会生態学<br>保全生態学概論          |
| 4 |                          | 行動計量学<br>重回帰分析       | 社会変動論<br>カルト問題と公共性     | 社会構造論<br>医療と福祉の社会学 |                           |
| 5 |                          |                      |                        |                    |                           |

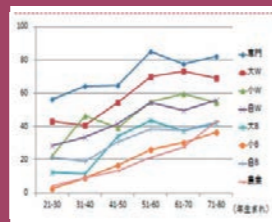
※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



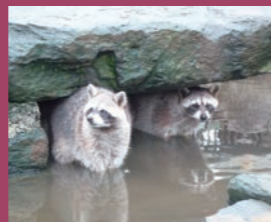
▲ 行動科学関連諸分野の主要な研究テーマと研究方法の概要を学ぶ。【行動科学実験実習】



▲ 目や耳などの感覚器官を通じて得られる情報が知覚になるまでの仕組みについて学ぶ。【認知心理学】



▲ 格差社会の実態をデータに基づいて考える。【社会学演習】



▲ 生物多様性の保全について、人間の視点から学ぶ。【社会生態学】

研究室・教員・卒業論文テーマ

心理学研究室

- 安達 真由美 教授 ADACHI Mayumi
  - 研究分野 音楽心理学(聴取、演奏、感情、発達)
- 川端 康弘 教授 KAWABATA Yasuhiro
  - 研究分野 認知心理学(色覚、感性、知識、熟達)
- 河原 純一郎 教授 KAWAHARA Jun-ichiro
  - 研究分野 認知行動科学(注意、記憶、魅力、ストレス、産業応用)
- 小川 健二 准教授 OGAWA Kenji
  - 研究分野 認知神経科学(特に運動学習や社会認知)
- 金子 沙永 准教授 KANEKO Sae
  - 研究分野 知覚心理学(特に視覚、錯視)
- 森本 琢 助教 MORIMOTO Taku
  - 研究分野 認知心理学(クロスモダルな情報処理過程、記憶、心的イメージ)

【卒業論文テーマ例】

- 競争的有利・不利と結びつく色彩の検討
- 単色の印象とジャケットに着色した時の印象の比較
- 経頭蓋直流電気刺激を用いた視覚的視点取得の神経基盤の検討
- パーソナルカラーと個人の嗜好性との関連
- 過敏性腸症候群に関連する単語への注意バイアス
- 視覚情報に与えるBGM効果の対称性: ニュートラルな映像と賛否両論のテキストメッセージの場合
- ヒト型自閉症モデルマウスの超音波コミュニケーション-母仔分離場面における新生仔マウスの発声-
- 外眼角および口角の近傍に位置するほくろが顔の魅力に及ぼす影響
- COVID-19影響下における黒色の衛生マスク着用者に対する潜在的態度と地域差
- 運動学習前後の安静時脳活動に対する経頭蓋直流電気刺激による制御

行動科学研究室

- 大沼 進 教授 OHNUMA Susumu
  - 研究分野 環境社会心理学、リスクガバナンス
- 高橋 伸幸 教授 TAKAHASHI Nobuyuki
  - 研究分野 社会心理学、実験社会科学
- 竹澤 正哲 教授 TAKEZAWA Masanori
  - 研究分野 社会心理学、適応的意思決定、文化進化論
- 結城 雅樹 教授 YUKI Masaki
  - 研究分野 社会心理学、文化心理学、社会生態心理学
- 高橋 泰城 准教授 TAKAHASHI Taiki
  - 研究分野 行動科学、神経経済学
- 瀧本 彩加 准教授 TAKIMOTO Ayaka
  - 研究分野 比較認知科学
- 中島 晃 助教 NAKAJIMA Akira
  - 研究分野 応用統計学

【卒業論文テーマ例】

- パンデミックでもマスクを着けない理由がある。-コロナ禍におけるマスク拒否傾向の日米差とその原因-
- 信頼行動の示し方が第三者からの評価に及ぼす影響に関する研究 -依存度選択型囚人のジレンマゲームを用いて-
- 言語における階層構造の進化: 文化伝達実験による検討
- 罰行使者に対する評価~Give some型とTake some型の比較~
- 母ウマにおける離乳作業後のストレス反応・回復傾向についての検討
- 不公正な提案に対する反応に評判が及ぼす効果の検討
- 生活環境の変化が新たな環境への順応に与える影響 -低関係流動的な都道府県への引越しの影響の検討-
- 参加型ワークショップにおけるファシリテーションの評価手法の開発-発話分析とコード化による多面的評価-
- ゴシップを聞いた第三者がゴシップをする人に対して抱く印象に関する検討
- 場面特長的に出現する意図を含めたボイ捨て行動モデルの提案: 大規模社会調査データ分析
- 協力行動と機能的MRSで測定された神経伝達物質の関連についての探索的研究
- 良い討議とは何か: 討議の質評価指標の開発と多面的共通善に関する集団討議実験
- リーダーシップスタイルの日米差-成果主義と労働市場流動性による影響の検討-

社会学研究室

- 櫻井 義秀 教授 SAKURAI Yoshihide
  - 研究分野 宗教・文化社会学、タイ地域研究、東アジア宗教研究、ウェルビーイング研究
- 平澤 和司 教授 HIRASAWA Kazushi
  - 研究分野 社会学(特に教育、家族、社会階層)
- 伍 嘉誠 准教授 NG Ka Shing
  - 研究分野 ナショナルリズム研究、社会運動論、宗教・文化社会学、東アジア研究
- 樋口 麻里 准教授 HIGUCHI Mari
  - 研究分野 社会的排除論、福祉・医療社会学、家族社会学、国際比較
- 清水 香基 助教 SHIMIZU Koki
  - 研究分野 宗教社会学、主観的ウェルビーイング研究、価値意識の研究

【卒業論文テーマ例】

- 高齢女性における象徴資本としての和服所有
- 日本における排外意識の規定要因
- 大学の専攻分野選択メカニズムのジェンダー差 -母親の期待に着目して-
- 日本における「生理的貧困」の実態と支援の意義、課題
- What Kinds of Couples Allocate Housework Equally?
- 少子化対策としての家庭内育児支援ロボットの可能性と母親の認識・期待-子ども数と周囲からのサポートの違いに着目して-
- 運動部における女性同士のつながり -GTAを用いた分析から女性のホモソーシャルリティを探る-
- 発達障害かつ不登校児童と支援の壁 ~親子と社会の関係性に着目して~

地域科学研究室

- 池田 透 教授 IKEDA Tohru
  - 研究分野 保全生態学、侵入生態学(外来種管理)、野生動物管理学、ニュージーランド地域研究、社会生態学
- 笹岡 正俊 教授 SASAOKA Masatoshi
  - 研究分野 環境社会学、ポリティカル・エコロジー論、インドネシア地域研究
- 橋本 雄一 教授 HASHIMOTO Yuichi
  - 研究分野 都市地理学、地理情報科学(GIS)
- 宮内 泰介 教授 MIYAUCHI Taisuke
  - 研究分野 環境社会学、地域社会学、開発社会学
- 高橋 昂輝 准教授 TAKAHASHI Koki
  - 研究分野 社会地理学、北米地域研究
- 林 琢也 准教授 HAYASHI Takuya
  - 研究分野 農村地理学、経済地理学、観光学、地域づくり論
- 立澤 史郎 助教 TATSUZAWA Shirou
  - 研究分野 保全生態学、環境教育論、シベリア地域研究

【卒業論文テーマ例】

- 被災地において生涯学習施設が果たす役割-南三陸町生涯学習センターの事例から
- 繁殖期におけるハシブガラスの威嚇・攻撃行動の要因と認知・識別能力
- 広尾昆布における生産・流通・取引構造の現状と課題 -漁協と漁師の「すれ違い」に着目して-
- バルイベントの伝播と地域間交流 -他地域との結びつきに対する主催者の想いとその背景に着目して-
- アライグマ管理における生息指標の継続的算出に向けた社会的課題 -北海道長沼町を事例に-
- コミュニティ放送局が地域の内外で果たす役割 -2つの臨時災害放送局が設置された北海道胆振東部地震を事例に-
- 札幌市における分譲マンションの立地分析
- 災害時のペット同行避難に関する自治体の現状と課題
- 観光分野における相利共生の成立とコーディネーターの条件 -南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会の取り組みを事例に-
- 学生のサークル活動における「関係人口」の創出と継続要因 -歌志内市とYOSAKOIソーランサークル北海道大学「縁」の交流を手がかりに
- LGBT当事者でもあり支援者でもある女性のライフストーリー -支援を絶やさず続けていくことの意義と手立て-
- ジオパークでの保全活動における専門家と地域住民の協働のあり方 -北海道様似町・アボイ岳の事例から

# 卒業論文

4年間の学びの集大成



## 卒業論文への取り組み

他の卒業生の卒業論文への取り組みはウェブサイトでお読みください。



### case 01

#### 卒論テーマ 確証のパラドクスの批判的分析

哲学・文化学コース  
(令和3年度卒業)  
室井 沙月 さん  
(むろい さつき)



#### [テーマを決める]

卒論テーマは、ある科学的な命題とその対偶(同値になるはずの命題)の確かさが一致しない場合に生じるパラドクス(確証のパラドクス)について、「すべてのカラスは黒い」という例を用いて、このパラドクスをできるだけうまく解消するまでの道筋を示すことを目指しました。科学的な推論に関する問いを論理学の手法で検討するため、科学哲学と論理学の中間に位置するテーマ設定にも惹かれました。

#### [情報を集める]

3年生の9月から授業とは別に、指導教員の佐野勝彦先生と定期的に科学哲学の基本的な教科書を英語で読み、同時に先行研究の行間を埋めてさらに深く理解するための方法を学びました。5月初頭に内部進学者向けの大学院特別入試を受けた後は、この研究分野の最も基本となる論文を11月までかけて佐野先生との面談を活用して全訳・証明してから、卒論の執筆に取りかかりました。証明が必要な部分を洗い出す方法や言い換え・要約の仕方について佐野先生から丁寧に指導していただき、修士以降の研究に活かせるような構想の立て方なども大変参考になりました。

#### [書き上げる]

議論の本筋に肝要な部分だけを取捨選択し、自分の言葉で構成するというのはかなり難しかったです。先行研究の読解が思うように進まず、肝心の卒論を推敲する時間が限られてしまいましたが、自分なりのゴールには近づけたと思います。卒論には論文の推敲だけでなく進行状況や時間管理をも推敲する能力が求められます。書き上げていく過程で、今後大学院で研究を進めていくための基礎体力がつけられました。

指導教員  
からの評価

哲学倫理学研究室  
佐野 勝彦 准教授

卒業論文執筆には知的好奇心に加えて先行研究をフェアな仕方で噛み砕く知的な基礎体力も不可欠です。地道な作業で英語文献を読み解いた力作です。

## 4年次のスケジュール

| 4月        | 5月 | 6月                                       | 7月   | 8月 | 9月        | 10月   | 11月 | 12月  | 1月                           | 2月        | 3月                                     |
|-----------|----|--|--|----|-----------|---|-----|------|------------------------------|-----------|--|
| 卒論指導教員の決定 |    | 教育実習<br>教員免許を取得する者のみ対象。<br>時期は実習先により異なる。 | 博物館実習<br>学芸員資格を取得する者のみ対象。<br>時期は実習先により異なる。 |    | 大学院入試(前期) | 卒論題目届を提出<br>指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。<br>論文作成もいよいよ追い込みへ。 |     | 卒論提出 | 卒論口述試験<br>試験の内容はコース・研究室で異なる。 | 大学院入試(後期) | 卒業決定者発表・学位記授与式・卒業祝賀会<br>学位「学士(文学)」を授与。 |

### case 02

#### 卒論テーマ An Analysis of Adversative Usage of English Preposition ON (英語前置詞 on の迷惑・不利益を表す用法に関する分析)

言語・文学コース  
(令和元年度卒業)  
松村 大寿 さん  
(まつむら だいじゅ)



#### [テーマを決める]

きっかけは、日本語の「雨に降られた」を英語では「It rained on me」と表すという記述を見つけたことです。同じ事態を日本語では「降られた」という受身、英語では前置詞 on という全く異なった形式で表していることに強く興味を引かれ、先行研究があまり進んでないことが判明したので、自分で「前置詞 on の迷惑用法」について明らかにしたいという気持ちで駆られました。

#### [情報を集める]

6月から9月末までは先行研究の収集・分析を行い、仮説を立てる助走期間。10~11月には用例の収集と英語のネイティブスピーカーを対象としたアンケート調査を行い、11~12月で一気に執筆作業を進めました。先行研究の論文に on がもともと「接触」の意味を持つところからいくつかの意味を経て「迷惑」の意味が生じると指摘するものを見つけましたが、その複雑な経緯かつ思弁的な説明に苦慮していたところ、指導教員の野村先生から「それぞれの意味の発生年代を調べてみたら?」というアドバイスをいただいたことで客観的な証拠付けができました。

#### [書き上げる]

論文執筆という自分一人で進めるイメージがありましたが、実際には学生同士の意見交換や先生方への相談が頻繁に行われ、それらが論文の完成度を高めることがよくわかりました。英語学の卒業論文は英語で書くのが慣例となっているため、執筆は想像を超えた大変さでしたが、その分完成した時の喜びはひとしお。見返してみると理由付けやアンケート調査の分析に改善すべき点があり、さらに扱えきれなかった話題もあるので、今後の研究のモチベーションとなりました。

指導教員  
からの評価

言語科学研究室  
野村 益寛 教授

卒論の成功のカギはテーマ選びにあり。そのためには日頃から「なぜだろう?」とアンテナを広く張ること。この点でこの卒論は最初から成功が約束がされていました。



## 留学制度

# 異文化のレンズを通して日本を相対化する 実践的な外国語力を身につけ、世界という舞台へ

## 北海道大学の交換留学制度

### — 文学部独自の制度も充実 —

北海道大学では、海外の51カ国・地域の199大学等と大学間交流協定を結んでいます(2022年5月現在)。このうち、187大学と「大学間」の学生交流覚書を、また、それとは別に「部局間」の学生交流覚書も締結しています。学生はこれらの協定大学に1学期間あるいは1年間「交換留学」することができます。大学間の場合は、北海道大学の学生全員が対象ですが、部局間の場合は、協定を結んでいる部局の学生が対象となります。文学部では、現在24大学と部局間交流協定を締結しており、このうち13大学と学生交流覚書を取り交わしています。これらの13大学に対しては文学部独自の交換留学制度があります。

## 交換留学のメリットいろいろ

### — 授業料不徴収、単位認定、生活相談も —

北海道大学は海外の協定大学との間に「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。「授業料不徴収」とは、北海道大学に授業料を納めれば留学先の大学に授業料を払わなくてすむという制度で、北大よりも高い学費の大学へ留学したい場合は非常に有効です。交換留学であれば、留学先の大学の専門科目を履修することができ、そこで修得した単位が文学部の審査によって帰国後に認定される場合があります。

また大学間交流協定校への交換留学の場合、出願手続きを学務部国際交流課がサポートし、出発前に交換留学生を対象としたオリエンテーションも実施します。留学中もメール等で授業や生活等に関する相談に応じるとともに危機管理に関する情報も提供しています。文学部の部局間交流協定校への留学は、文学部独自の支援が受けられます。一人一人の状況に応じたきめ細やかなフォローで、事前準備から留学中の相談にも対応しています。

## 北大文学部から世界へ 世界から北大文学部へ

### あなたの隣にも留学生が 国際色豊かな北大キャンパス

北海道大学には世界各国から集まった大勢の外国人留学生が進んでいます。留学生との交流プログラムも豊富に用意されており、さまざまな体験を通して国や人種、ことばや文化、宗教などの壁を越えた友情を育むことができます。

文学部や大学院文学院に在籍する各国の留学生たち(15カ国・191名、令和4年5月現在)も、皆さんの大学時代を彩る大切な仲間たち。緑のキャンパスにいながらにして国際交流や異文化コミュニケーションが始まります。

#### 部局間交流協定校

#### ザグレブ大学(クロアチア共和国)

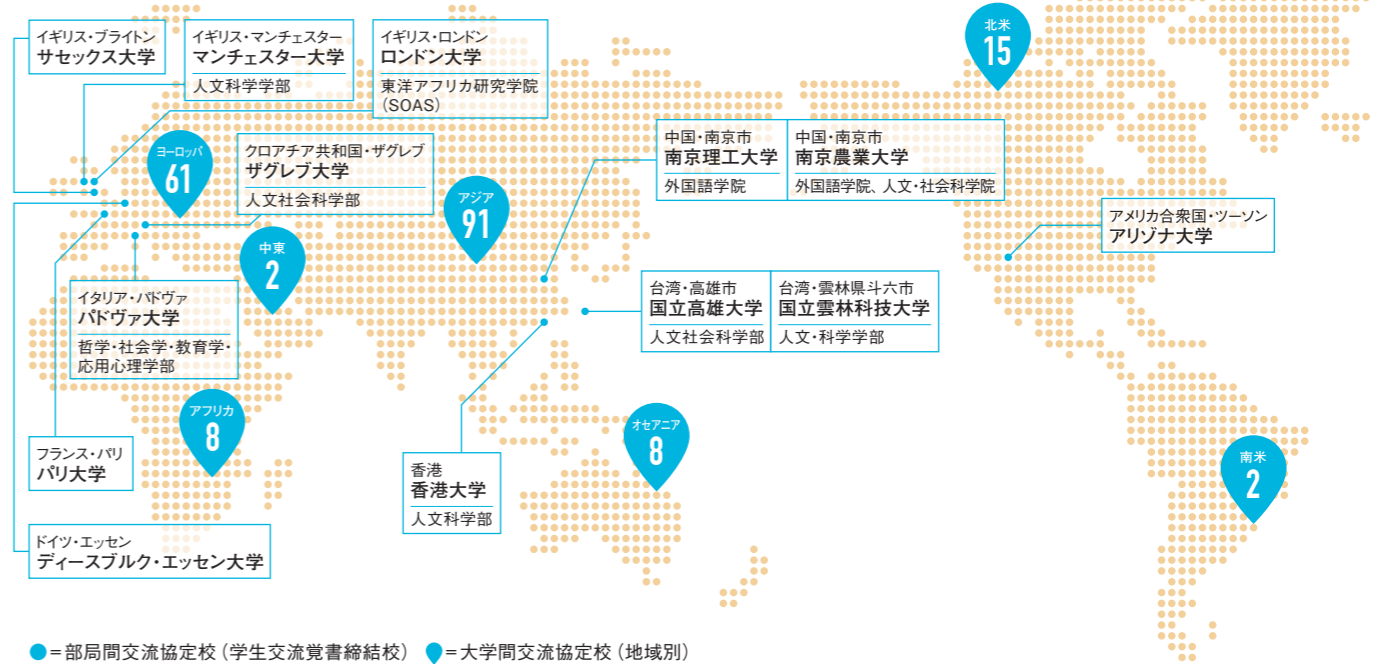
地域科学研究室 留学年次3年  
三井 和(みついなごみ)さん



#### 多様な生き方を学んだクロアチア留学

ザグレブでは大学や留学生のコミュニティだけでなく、大使館職員をはじめ海外で活躍する在住日本人を中心に年齢も人生経験もまったく異なる人々が互いを受け入れ支え合う心地よく温かい人間関係の中で過ごすことができました。多様な生き方や価値観に出会うかけがえのない経験となりました。

## 国際交流協定校Map



● = 部局間交流協定校(学生交流覚書締結校) ● = 大学間交流協定校(地域別)

#### 文学部が提案・関係部局となっている大学間交流協定校

アバディーン大学 / アラスカ大学フェアバンクス校 / イルクーツク国立大学 / ウィスコンシン大学マディソン校 / ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 / オウル大学 / オクラホマ大学 / オークランド大学 / ケルン大学 / サハリン国立大学 / ジュネーブ大学 / ソウル市立大学 / タルトゥー大学 / デラサル大学 / ノヴォシビルスク国立大学 / ハワイ大学マノア校 / バイロイト大学 / プラレスト大学 / 北京大学 / 北京師範大学 / ベオグラード大学 / ヘルシンキ大学 / 北東連邦大学 / 香港中文大学 / マヒドーン大学 / ミラノ・ビッコッカ大学 / ワルシャワ大学

[50音順]

#### 大学間交流協定校

#### 国立台湾大学(中華民国)

社会学研究室 留学年次2年  
荒 幹彦(あらもとひこ)さん



#### 充実の留学生支援、快適な学生生活

ジェンダー分野に関心があり、アジアでは台湾大学がこの領域で先進的な研究を行っているため、留学先としました。中国語が流暢でなくても英語の授業が受講可能です。チューター制度を始め、留学生向けのイベントや支援が充実していて、さまざまな体験を通して多くの友人と交流しました。

#### 大学間交流協定校

#### オクラホマ大学(アメリカ合衆国)

文化人類学研究室 留学年次4年  
酒井 舞香(さかいまいか)さん



#### 異文化の中「当たり前」を問い直す

文化人類学研究室で学んだ異文化理解や多様性尊重という考え方を体験したいと考え、オクラホマ大学で人類学、先住民学、舞踊を中心に学びました。最初は不安でしたが、自ら積極的に行動することで、授業や課題に対する自信もつき、現地学生と充実のディスカッションを交わせたことが大きな収穫です。

#### 海外からの留学生

#### 上海外国語大学(中華人民共和国)

言語科学研究室 文学院修士2年  
張 琴琴(ちようきんきん)さん



#### 数量詞の謎を解明するために北大へ

中国で日本語を学んでいた時、数量詞に疑問を持ちました。調べるうちに、加藤重広先生の研究に出会い、北大への留学を決意しました。文学部研究生として入学、コロナ禍で来日が遅れ海外から遠隔授業を受講しました。来日後は北大の豊かな環境を満喫しながら勉強し、目標の大学院進学を果たせました。

さらに詳しい留学体験記は「留学ガイドブック」または文学部ウェブサイトで見ることができます。



## 資格・免許

# 文学部で取得できる教員免許や資格 「なりたい自分」に向かって計画的に

## 進路の選択肢を増やす免許や資格 取得に必要な所定単位は要チェック!

文学部では、中高教員免許状の他、美術館・博物館・資料館などの学芸員資格、また、社会調査士、考古調査士の資格も取得できます。資格を持っていると、進路を決める際に選択肢が大きく増え、可能性の幅が広がります。免許・資格の取得には所定の単位の修得が必要です。カリキュラムを計画的に組み立て、単位の取りこぼしがないように気をつけましょう。



### 教える喜び・難しさを学ぶ

## 教育職員免許状

中学校・高等学校の教員になるには、教育職員免許状が必要です。この免許状を取得するために開設されているのが教職課程です。教職課程の履修を通して、教育の基礎理論の他、生徒への指導や相談方法など教員に必要な知識や技能を学んでいきます。このため、卒業に必要な単位より多くの単位を修得する必要があります。教育実習も必修です。

- 中学校教諭一種免許状 [国語、社会、外国語(英語)]  
令和元年度～3年度の北大文学部生 取得数38件
- 高等学校教諭一種免許状 [国語、地理歴史、公民、外国語(英語)]  
令和元年度～3年度の北大文学部生 取得数69件

### 情報化社会で注目度上昇中

## 社会調査士

社会調査士資格には、「社会調査士」と「専門社会調査士」の2種類があります。どちらも社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえる能力を有する(調査の専門家)のことです。

「社会調査士」の資格を活かし、社会の動きを読み解くエキスパートとして活躍する場は多彩です。調査会社をはじめシンクタンクやコンサルタント会社、官公庁、マスコミ、IT企業ほか多くの民間企業で、調査の実施、結果の分析、その後の施策の企画立案等に携わります。

文学部では、「社会調査士」資格取得のために必要な科目(社会調査協会・標準カリキュラムに準拠)を開講しています。「専門社会調査士」は大学院修士課程修了で取得することができます。

- 社会調査士  
令和元年度～3年度の北大文学部生 取得数24件

### 博物館の企画運営の専門職

## 学芸員

学芸員とは、「博物館法」に定められた博物館(美術館、科学館、動植物園、水族館などを含む)に勤務する専門職員です。

主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・展示、利用者へのアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等。他に博物館の運営等の業務もあり、博物館全般の業務をこなします。

法令の定める「博物館に関する科目」を修得し、かつ学士の学位を有することで学芸員になるための資格が得られます。文学部では、学芸員資格取得のための説明会を毎年4月に実施しています。

- 学芸員  
令和元年度～3年度の北大文学部生 取得数34件  
(大学院生25件・計59件)

### 埋蔵文化財調査の専門家

## 考古調査士

北海道大学では令和2年度に新設。取得できる考古調査士資格には、学部卒業時に取得できる「2級考古調査士」と大学院修士課程もしくは博士後期課程修了時に取得できる「1級考古調査士」の2種類があります。どちらも文学部または文学院が開講している所定の授業科目の単位を修得し、考古調査士資格認定機構から認定されると取得できます。

埋蔵文化財調査と保存・活用に必要なさまざまな専門知識と技術を身につけ、国民共有の財産である文化財の保存と活用に関わります。行政機関や民間組織での活躍が期待されます。

- 2級考古調査士  
令和2年度～3年度の北大文学部生 取得数4件  
(他学部生2件・計6件)

## 資格・免許を活かして

## 演習で培った技術を授業で応用

勤務先 札幌市立もみじ台南中学校  
[国語科・英語科教諭]

内田 俊樹(うちだ としき)さん  
文学部 言語・文学コース(平成28年度卒業)

北海道大学在籍中は英語学を専攻していました。中高で学んだ英語のちょっとした疑問や意外な一面を知ることができ、「面白い学問だな」とのめり込んでいきました。北海道大学文学部は教員の数も多く、バラエティに富んだ講義の中から興味・関心に応じたものを比較的自由に選択することができます。そのため専門性を磨くかわら、幅広い教養を身に付けることができました。

なかでも演習で培った技術は、教員になった現在も役立っていると感じています。例えば、課題の論文の内容をまとめる資料作成と発表で培われた技術は、今受け持っている授業にもそのまま活かされています。また、ゼミや卒業論文で先行研究を読み漁った経験も教材研究に役立っています。

教職はとてもやりがいがある職業です。学級経営や校務分掌など多くの仕事がありますが、生徒と一緒にいる時間が一番長いのは、なんといっても授業です。教員を志す皆さんは、学問に真摯に向き合い、その専門性を高めていってほしいと思います。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。



## 異分野の仲間と学ぶ醍醐味を実感

勤務先 本郷新記念札幌彫刻美術館(公益財団法人札幌市芸術文化財団) [学芸員]

山田 のぞみ(やまだ のぞみ)さん

文学部 哲学・文化学コース(平成23年度卒業)  
大学院文学研究科 思想文化学専攻[修士](平成25年度修了)  
大学院文学研究科 思想文化学専攻[博士](平成29年度修了)

問いを立て、考えを言葉にし、議論に参加していたゼミを今振り返ると、問題に直面した時に対処する姿勢を学ぶ機会に恵まれていたと感じます。学内に収蔵されている美術品の展覧会を企画運営するプロジェクトでは、様々な人と協働しながら、教室での学習を実践に移す貴重な経験を積むことができました。

今日のミュージアムでは、異分野との融合を試みた新しい企画や展示も実施されています。在学中に自らの専門と直結した美術館のみならず、自然史系博物館や科学館の学芸員を目指す仲間とともにミュージアムのあるべき姿を考え、課題に取り組むことができるのも、「総合大学のなかの文学部」で学ぶ大きな醍醐味です。

卒業後、美術館勤務を数年経て「学芸員リカレント教育プログラム\*」で再び学び始めました。現職の学芸員を含む参加者が、各々の経験を持ち寄り研鑽を積み重ね、とても刺激的です。日々の仕事の位置づけや意義を俯瞰的にとらえる視点を育て、職場での実務に活かしていきたいと考えています。

\*大学で資格を取得後、ミュージアムに就職した現職の学芸員を対象にして、さらに専門的な学びの機会を提供するプログラムです。2018年度から2020年度にかけて文化庁の助成を受け、北大文学部が主催して講義や実習を実施しました。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。





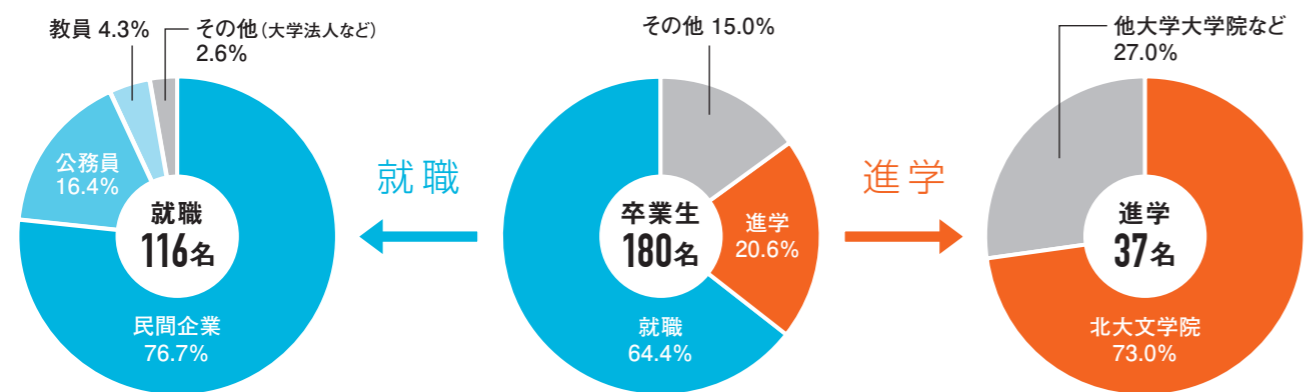


# 文学部で培った「伝える力」を發揮 学びの豊かさを映す多彩な就職先

豊かな学びを吸収した北大文学部生の進路・就職先は、実に多彩です。研究対象を問わず「読む」「聞く」「書く」「説明する」ことに真摯に取り組む姿勢は、文学部生ならではの美点であり、卒業論文を書き上げる過程で「調べる」「分析する」「理解する」「人にわかりやすく伝える」といった、社会で必要とされるスキルもしっかり習得できます。

また、北海道の自然に囲まれ、さまざまな仲間と過ごすキャンパスは、大切な人間形成の場でもあります。コミュニケーションスキルも自ずと磨かれ、社会というステージでのびのびと活躍している先輩たちが大勢います。

## 進路・就職データ (令和3年度 / 卒業生180名)



約3分の2が就職、  
うち民間企業が約8割、公務員が2割弱

大学院進学は約7割が北大文学院

## 学生の一步先をやさしくサポート、進路・就職の説明会も随時開催

文学部では毎年、進路や就職選択のサポート活動として「履修コース説明会」「就職ガイダンス」「大学院進学説明会」などを行っています。また、文学部図書室に設置された就職資料コーナーでは豊富な資料が閲覧できるほか、学生用PC室では就職情報の検索など自由にPCが利用できます。



▲就職ガイダンス



▲大学院進学説明会 ※令和2年以降はオンラインにて開催

## 事実を見定める歴史学の学びを保険業務に活用

勤務先 東京海上日動火災保険株式会社  
北海道損害サービス部 旭川損害サービス課

平岡 華歩(ひらおか かほ)さん  
文学部 歴史学・人類学コース(平成28年度卒業)



大学では思い切り好きなことを学ぼうと、小学生の頃から興味があった歴史学が充実している北大へ。北大の日本史学研究室は時代ごとにゼミが分かれており、私は小倉真紀子先生のもと、「平安時代の伊勢斎宮」をテーマに取り組みました。数々の史料をもとに斎宮の選定例や背景を検証し、これまでの通説が正しいと言えるのか、自分なりの結論を導き出しました。

現在携わっている会社の業務も推測や憶測ではなく、正しく事実を認定し、法律や約款に基づいて適正に保険金をお支払いすることが重要です。大学時代に学んだ「なぜ」を大切にすることが、いま社会人になった私の「主体的に行動する」基本指針の土台となっています。

大好きな学問に真摯に向き合い、たくさんの友人と一緒に充実した学部生活を送った日々は、人生の大きな財産です。これから入学される皆さんも楽しく、素敵な学生生活を過ごせるよう心から応援しています。

### お仕事紹介: 目に見えない保険を形にしてお届け

形のない商品を扱うからこそ「人と人」の信頼関係に重きを置く金融業界に興味を抱き、きらきらと輝く先輩社員が多い当社に惹かれました。現在はお客様の自動車事故の対応を行う損害サービス業務に携わっています。目に見えない保険を形にしてお客様にお届けすることに非常にやりがいを感じています。

※本項は2020年6月現在のデータで構成しています。

## 人生や世界に対する視座を養う文学部

勤務先 北海道経済部経済企画局国際経済課

齊藤 遼(さいとう りょう)さん  
文学部 歴史学・人類学コース(平成24年度卒業)



高校時代に体験授業で受けた東洋史学の吉開将人先生のゼミに魅了されて、北大文学部に進みました。入学してすぐに東洋史学の講義を一番前に座って受けたときの嬉しさは今も忘れられません。歴史学の他にも文化人類学や哲学、宗教学、心理学などさまざまな講義を受講しました。そこで養ったものは「人間ってこういうところがあるよな」とか「世界ってこういうふうになっているんだな」という自分なりの感覚です。仕事をしていると、日々課題にぶつかります。私の仕事は「人」との調整が主な仕事ですので、対応に客観的な答えがなく、自分の持つ情報や知識に基づき都度、判断をする必要があります。その時に自分の考えを整理する軸として、自分なりの人間や世界に対する視座というものがあり、それは紛れもなく「人」に関する学問を修める文学部にいたからこそ養えたものだと感じています。

### お仕事紹介: ODAを経て中国との経済交流を担当

自分の生まれ育った北海道をもっと元気にしようと北海道庁を希望しました。入庁後、4年目から外務省に出向しベトナム、インドネシアなどへのODAを担当し、上海総領事館にも勤務しました。今は道庁に戻り、経済部国際経済課で中国との経済交流、主に道産品の中国への輸出拡大に向けた取組みを担当しています。

昨今は将来の就職を考えて文学部進学を迷う人も少なくないと思いますが、大学はまず学びの場であり、文学部はさまざまな「人」に関する知識が絡み合う面白い世界です。そこで得られるものは仕事を越えて、生きていく中で大切なあなたの軸になっていくと思います。

※本項は2021年6月現在のデータで構成しています。

卒業生の就職先(過去3年間の主な就職先)

|  |  |   |   |   |  |   |   |
|--|--|---|---|---|--|---|---|
| <p><b>公務員</b></p>  | <p>横浜市役所</p>   | <p>KADOKAWA<br/>キットアライブ</p>   | <p><b>製造業</b></p>   | <p><b>金融・保険業</b></p>  | <p>コーセー化粧品販売<br/>サンセリテ札幌</p>   | <p>中央道路工業<br/>北海電気工事<br/>前田建設工業</p>   | <p>農業・商品産業技術 総合研究機構<br/>野村総合研究所<br/>博報堂</p>   |
| <p>外務省<br/>環境省<br/>経済産業省<br/>経済産業省 東北経済産業局<br/>経済産業省 北海道経済産業局<br/>厚生労働省<br/>厚生労働省 小樽検疫所<br/>国税庁札幌国税局<br/>国土交通省<br/>国土交通省 北海道開発局<br/>財務省 函館税関<br/>財務省 北海道財務局<br/>総務省 東北総合通信局<br/>総務省 北海道管区行政評価局<br/>総務省 北海道総合通信局<br/>内閣官房<br/>防衛省 北海道防衛局<br/>防衛省 陸上自衛隊北部方面総監部<br/>法務省 矯正局<br/>法務省 札幌出入国在留管理局<br/>法務省 東京出入国在留管理局<br/>文部科学省</p> | <p><b>教育・学習支援業</b><br/>愛知県立高等学校<br/>恵庭北高校<br/>岡山学芸館清秀中学校・高等部<br/>尾道学園尾道中学校・高等学校<br/>岐阜県立高等学校<br/>首里中学校<br/>立花学園高校<br/>私立帝塚山学院泉が丘中学高校<br/>東北大学<br/>日本学生支援機構<br/>函館白百合学園高等学校<br/>北海道北見柏陽高等学校<br/>北海道大学<br/>北海道立高等学校<br/>ヴァーリング<br/>KDG看護予備校<br/>秀英予備校<br/>プレーンバンク<br/>代々木ゼミナール</p> | <p>共同通信社<br/>クオリサイトテクノロジーズ<br/>グレスコ<br/>KDDIエボルバ札幌センター<br/>CS-C<br/>JSOL<br/>JTBパブリッシング<br/>システム・ケイ<br/>SHIFT<br/>尚文出版<br/>スミセイ情報システム<br/>セプテーニ・ホールディングス<br/>ソフトウェア・サイエンス<br/>ダイヤモンドヘッド<br/>中日新聞<br/>TIS<br/>デジタルデータソリューション<br/>テレビ熊本<br/>東急テックソリューションズ<br/>トレンド・プロ<br/>西日本電信電話<br/>日本アイピー・エム・ソリューション・サービス<br/>日本電波ニュース社<br/>日本放送協会<br/>パーソルプロセス&amp;テクノロジー<br/>パワープランニング<br/>東日本電信電話<br/>ビッグローブ<br/>富士通コネクテッドテクノロジーズ<br/>フューチャーアーキテクト<br/>プライム・ブレインズ<br/>フルタニ産業<br/>北海道新聞社<br/>北海道文化放送<br/>北海道放送<br/>マイベスト<br/>メンバーズ<br/>楽天<br/>LASSIC<br/>リベロシステム</p> | <p>伊藤園<br/>極洋<br/>グリコ栄養食品<br/>サントリーホールディングス<br/>高橋物産<br/>倉敷紡績<br/>ぎょうせい<br/>凸版印刷<br/>浜島書店<br/>文藝春秋<br/>光村図書出版<br/>出光興産<br/>エーザイ<br/>AGC<br/>富士フィルム<br/>ブリヂストン<br/>三井化学<br/>ライオン<br/>JFEスチール<br/>住友電気工業<br/>キオクシア<br/>富士通<br/>東芝テック<br/>日本電気<br/>日本HP<br/>三菱電機<br/>スズキ</p> | <p>愛媛銀行<br/>岡三アセットマネジメント<br/>岐阜信用金庫<br/>七十七銀行<br/>大和証券<br/>苫小牧信用金庫<br/>日本政策投資銀行<br/>八十二銀行<br/>北洋銀行<br/>北海道銀行<br/>北國銀行<br/>みずほフィナンシャルグループ<br/>みずほ証券<br/>三井住友銀行<br/>三菱UFJ信託銀行<br/>三菱UFJ銀行<br/>ゆうちょ銀行<br/>りそな銀行<br/>AIG損害保険<br/>かんぽ生命保険<br/>住友生命保険<br/>第一生命保険<br/>地方職員共済組合<br/>東京海上日動火災保険<br/>富国生命保険<br/>三井住友海上火災保険<br/>明治安田生命保険</p> | <p>セコマ<br/>DCM<br/>トライアルカンパニー<br/>ニトリ<br/>日本調剤<br/>長谷川産業<br/>はなまる<br/>ハミューレ<br/>丸井グループ<br/>ユニクロ<br/>ヨークベニマル<br/>ローソン<br/><b>運輸・郵便</b><br/>朝日航洋<br/>SBSリコーロジスティクス<br/>苫小牧埠頭<br/>西日本高速道路<br/>日本郵便<br/>東日本高速道路<br/>北海道旅客鉄道<br/>北海道空港<br/>ロジネットジャパン<br/><b>電気・ガス・熱供給・水道業</b><br/>静岡ガス<br/>TOKAIホールディングス<br/>東北電力<br/>北海道ガス<br/>北海道電力ネットワーク</p> | <p><b>医療・福祉</b><br/>さっぽろ青少年女性活動協会<br/>生活科学運営<br/>日本年金機構<br/>ベネッセスタイルケア<br/>芳洋会<br/>メディカル・ケア・サービス<br/>LITALICO<br/><b>農業・林業</b><br/>京都造園<br/><b>不動産業、物品賃貸業</b><br/>ウィル<br/>カチタス<br/>住商アーバン開発<br/>タイムズモビリティ<br/>ファミリーコーポレーション<br/>三井不動産商業マネジメント<br/>武蔵コーポレーション<br/><b>学術研究、専門・技術サービス業</b><br/>アクセンチュア<br/>Webライター・作家<br/>NTTデータエービック<br/>NDPマーケティング<br/>エル・ティエ・エス<br/>クレタ<br/>Global Assist<br/>建設物価調査会<br/>セプテーニグループ<br/>東芝インフラシステムズ<br/>ニトリパブリック<br/>日本経営<br/>日本経済広告社</p> | <p>PwC京都監査法人<br/>PwCコンサルティング<br/>フォーモア<br/>フューチャーアーキテクト<br/>ペイロール<br/>北海道朝日航洋<br/>吉岡経営センター<br/>リクルート北海道じゃらん<br/>量子科学技術研究開発機構<br/><b>複合サービス業</b><br/>士幌町農業協同組合<br/>生活協同組合コープさっぽろ<br/><b>サービス業</b><br/>あきんどスシロー<br/>エイチケイアール<br/>カプコン<br/>近畿日本ツーリスト北海道<br/>スタジよんどしい<br/>日本写真判定<br/>日本旅行北海道<br/>びあ<br/>広島東洋カーブ</p> |
| <p>青森県庁<br/>茨城県庁<br/>江別市役所<br/>埼玉県警察<br/>札幌市役所<br/>島根県庁<br/>伊達市役所<br/>千葉県庁<br/>東京都庁<br/>栃木県庁<br/>富山県庁<br/>長野県警察<br/>長野県庁<br/>八王子市役所<br/>兵庫県庁<br/>北海道庁<br/>宮城県庁<br/>焼津市役所</p>   | <p><b>情報通信業</b><br/>アイアンドシー・クルーズ<br/>アイエンター<br/>アイケイシステムズ<br/>ウェブデザイナー<br/>HBC北海道放送<br/>エクサ<br/>NHK出版<br/>NTTデータ<br/>NTTデータMSE<br/>NTTデータカスタマーサービス<br/>NTTデータセキスイシステムズ<br/>NTT東日本<br/>EVERRISE<br/>エル・ティエ・エス<br/>エレクトロニック・ライブラリー<br/>Olivier</p>                                 | <p>日本電波ニュース社<br/>日本放送協会<br/>パワープランニング<br/>東日本電信電話<br/>ビッグローブ<br/>富士通コネクテッドテクノロジーズ<br/>フューチャーアーキテクト<br/>プライム・ブレインズ<br/>フルタニ産業<br/>北海道新聞社<br/>北海道文化放送<br/>北海道放送<br/>マイベスト<br/>メンバーズ<br/>楽天<br/>LASSIC<br/>リベロシステム</p>   | <p>住友電気工業<br/>キオクシア<br/>富士通<br/>東芝テック<br/>日本電気<br/>日本HP<br/>三菱電機<br/>スズキ</p>  | <p><b>卸売業・小売業</b><br/>内田洋行<br/>興和江守<br/>双日<br/>トーハン<br/>日本たばこ産業<br/>北海道酒類販売</p>   | <p><b>建設業</b><br/>一条工務店<br/>岩田地崎建設<br/>技研製作所<br/>清家石材工業<br/>積水ハウス<br/>大気社</p>  | <p>あきんどスシロー<br/>エイチケイアール<br/>カプコン<br/>近畿日本ツーリスト北海道<br/>スタジよんどしい<br/>日本写真判定<br/>日本旅行北海道<br/>びあ<br/>広島東洋カーブ<br/>アイエスエフネット<br/>アウトソーシングテクノロジー<br/>エフブレイン<br/>グローアップ<br/>セントスタッフ<br/>中小企業基盤整備機構<br/>日本国際協力センター<br/>マイナビ<br/>マーキュリー</p>  |   |



## 大学院進学

「さらに深く」専門研究に取り組む大学院  
2専攻11講座20研究室で修士・博士の学位を取得

# 学部での学びをさらに掘り下げる 北海道大学大学院文学院

北海道大学は研究に重点を置く大学院大学でもあります。文学部の4年間で十分に解明できなかった研究テーマをさらに深く掘り下げたいという人は、ぜひその先の大学院へ。

文学院は、国内きっての人文科学系研究拠点として多くの優れた研究者を輩出しています。修士課程を終えた大学院生の約4割は民間企業に就職あるいは公務員・教員になり、なかには民間企業の研究部門に職を得た人もいます。さらに研究を深めたいときは博士後期課程に進学という選択肢も。大学院生の旅費支援やオンライン開催学会参加費支援、校閲費支援など文学院独自の支援制度のほか、博士後期課程学生には「北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ」、「DX博士人材フェローシップ」という支援制度もあり、充実したサポート環境のもと、専門研究に没頭できます。

### 専門研究の基礎を習得、 修士論文を執筆

[修士課程]

標準修業年限は2年間。大学院の授業を受講しながら、指導教員による個別指導を受け、修士論文を執筆します。研究会や学会での発表も重要な訓練の場です。

**入試** 北大文学部卒業予定者のみを対象とする特別入試のほか、一般と留学生を対象とする前期入試、一般・留学生・社会人を対象とする後期入試の年3回。文学部卒業予定者はいずれも受験できます(特別入試は受験資格に条件があります)。

### 専門研究を修めた証、 博士学位の取得を目指して

[博士後期課程]

標準修業年限は3年間。自立した研究者・専門家を目指し、博士論文の完成を目指します。国内外の学会発表や論文投稿など、研究活動中心の生活を送ります。

**入試** 9月の前期入試、2月の後期入試の年2回行われます。いずれも一般入試と社会人特別入試が実施されます。

| 専攻   | 講座         | 研究室                         | 修士課程定員 | 博士後期課程定員 |
|------|------------|-----------------------------|--------|----------|
| 人文学  | 哲学宗教学      | 哲学倫理学、宗教学インド哲学              | 71名    | 28名      |
|      | 歴史学        | 日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学          |        |          |
|      | 文化多様性論     | 文化人類学、芸術学、博物館学              |        |          |
|      | 表現文化論      | 欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論 |        |          |
|      | 言語科学       | 言語科学                        |        |          |
|      | スラブ・ユーラシア学 | スラブ・ユーラシア学                  |        |          |
|      | アイヌ・先住民学   | アイヌ・先住民学                    |        |          |
| 人間科学 | 心理学        | 心理学                         | 19名    | 7名       |
|      | 行動科学       | 行動科学                        |        |          |
|      | 社会学        | 社会学                         |        |          |
|      | 地域科学       | 地域科学                        |        |          |

## 専門研究を後押しする豊かな環境のもと、栄えある受賞者が続出

北大大学院文学院の大学院生は、国内屈指の恵まれた環境の中、国内外で高く評価される研究成果を残しています。

#### 〈2021年 受賞者情報〉

- 日本社会心理学会 若手研究者奨励賞 宮崎聖人さん(修士課程)
- ネットワーク生態学シンポジウム ポスター優秀賞 宮崎聖人さん(修士課程)
- 科学技術融合振興財団 FOST 新人賞 横山実紀さん(博士後期課程)
- 日本学術振興会 育志賞 安田将さん(博士後期課程)
- 行動経済学会 学生論文コンテスト・聴衆賞 宮崎聖人さん(修士課程)
- 日本基礎心理学会 優秀発表賞 前澤知輝さん(博士後期課程)
- 日本心理学会 学術大会特別優秀発表賞 前澤知輝さん(博士後期課程)
- 日本人間行動進化学会 若手発表賞最優秀賞 本間祥吾さん(博士後期課程)
- 日本人間行動進化学会 若手発表賞優秀賞 中田星矢さん(博士後期課程)、貴堂雄太さん(修士課程)
- 日本シミュレーション&ゲーミング学会 奨励賞 横山実紀さん(博士後期課程)
- Cultural Evolution Society Conference 発表賞 貴堂雄太さん(修士課程)
- アジア社会心理学会 Misumi Award 李文俏さん(博士後期課程)

## 研究者への道

# 未来の自分が悔いを残さないように

勤務先 北海学園大学 工学部 教授 | 熊坂 亮(くまさかりょう)さん



#### PROFILE

平成13年北大文学部を卒業後、北大大学院文学研究科修士課程言語文学専攻を経て平成21年12月に「博士(文学)」を取得。平成23年より北海学園大学工学部に勤務し、平成29年より現職。専門はドイツ語学のなかでも「スイスのドイツ語」に関する研究。言語的特徴だけでなくスイスの言語状況や言語政策も対象としている。

初めは英語学に関心がありましたが、学部1年のドイツ語の授業がとても楽しくて、今の道を歩き出すきっかけになりました。一口に言語研究といっても「標準語」だけでなく「方言」も対象にできること、社会と言語あるいは人間と言語のつながりも研究対象にできることを学んだ学部時代でした。

博士後期課程に進むということは、乳児が「好きときに好きなだけ寝ていられる」ように「好きときに好きなだけ研究に没頭できる」特権を与えられることです(うちの乳児たちはあまり行使してくれませんでした)。その一方で研究に没入できる幸せは学術的かつ経済的な不安とつねに表裏一体であり、頂上がなかなか見えてこない長いしごを登り続けるようなものでした。その果てしない道のりのなかで、スイス政府奨学金を取得して行ったスイス留学という人生の大きな糧となる経験や手を差し伸べてくれる方々との出会いがあり、幸いなことに生業を獲得して現在に至ります。さまざまな可能性に満ちた皆さんに「博士を目指しましょう」と無責任に言うことはできませんが、人生に「する」ことによる後悔と「しない」ことによる後悔の両方があるならば、どちらが未来の自分にとってより深い後悔になりそうか。これが一つの物差しになるのではないかと感じています。あなたの心は何と言っていますか？

## 特色ある大学院教育プログラム

### 教養深化プログラム

#### ●プログラム設置の背景と目的

大学院教育においては、研究者育成だけでなく、社会の多くの分野で活躍する人材の育成が求められています。教養深化プログラムは、教員、公務員や民間企業等への就職を希望する学生を対象とするプログラムです。

学部を卒業してすぐに就職するのではなく、修士課程に進学し、専門分野の研究をさらに深めるとともに、人文社会科学諸分野の総合的な学修と、文理融合・学際的な学修に加え社会で役立つジェネリックスキル<sup>※</sup>の習得を実践することにより、高度な専門知識を有し即戦力となる人材を育成します。博士後期課程の学生にとっても、幅広いキャリアが開けるでしょう。

※ジェネリックスキル：社会人として活躍できる能力のこと。具体的には「知識活用力」、「課題解決力」、「コミュニケーション力」、「チームワーク・リーダーシップ」等の社会で役立つ汎用的な力を指す言葉として使われています。

#### 教養深化科目群(プログラム生限定科目)

##### 教養深化特別演習(基礎・総合)

- 多角的に分析し複合的に考察・表現する能力を身に付けます。
- 専門研究に関連づけた実践を通じて、総合力の一層の充実を図ります。

##### サイエンスリテラシー特別演習

- 数理的思考とデータ処理・活用法を学びます。
- 科学研究の最先端に触れ、科学的リテラシーを身に付けます。



#### ジェネリックスキル科目群(大学院共通授業科目)

##### ジェネリックスキル特殊講義 / ジェネリックスキル特別演習

- 文系学生向けのキャリアマネジメントやキャリア形成、交渉学やプレゼンテーション技法等を学びます。

修了要件を満たすとディプロマを取得できます。  
国内外の企業、公的機関等で活躍できる人材に!

## 人間知・脳・AI教育プログラム(CHAIN<sup>®</sup>教育プログラム)

#### ●プログラム設置の背景と目的

人文社会科学・脳科学・AI研究が交差する地点で「人間」について多角的に学ぶ文理融合型の教育プログラムです。人文社会科学、神経科学、人工知能の各領域を専攻する大学院生が、所属大学院を超えて学際的共同研究に参画し、関連する知識・技能を学びながら、それぞれの専門的知見・技能をも深めていきます。必要な単位を修得し、研究発表を行った履修生には、ディプロマが授与されます。

※CHAIN：Center for Human Nature, Artificial Intelligence, and Neuroscience 人間知・脳・AI研究教育センター

#### 修士課程1年から5年間で履修する場合(履修例)

| 人文社会系   | 自然科学系   |
|---|---|
| ●修士課程2年間で人間知序論I,II/入門ベジアン・モデリング/ディープラーニング演習/脳科学入門/SS/WSを修了。 | ●修士課程2年間で人間知序論I,II/ディープラーニング演習/脳科学入門/哲学特殊講義/SS/WSを修了。 |
| ●博士後期課程3年間で国内研究室インターン/研究留学/SS/WSを修了。                        | ●博士後期課程3年間で研究留学/企業インターン/SS/WSを修了。                     |

※SS:サマースクール ※WS:ウィンタースクール

#### 博士後期課程1年から3年間で履修する場合(履修例)

| 人文社会系   | 自然科学系   |
|---|---|
| ●修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。  | ●修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。  |
| ●博士後期課程3年間で人間知序論I,II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/入門ベジアン・モデリング/SS/WSを修了。 | ●博士後期課程3年間で人間知序論I,II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/哲学特殊講義/SS/WSを修了。 |

### 各大学院での博士号取得と同時に「人間知」のディプロマを取得

本プログラム修了後は、研究者として学際的研究に従事したり、「人間」にも科学技術にも通じた高度人材として企業に就職したりといった道があります。

# 研究者に学ぶ

～専門研究の魅力を知る～

北大文学部の教員は学生をいざなう教育者であると同時に、各自が関心を持つ研究テーマに取り組む研究者でもあります。学部移行とともに専門研究のスタートラインに立つ皆さんに向けて、4人の教員が専門研究の魅力を紹介いたします。



サハリンや北海道の近世文書が所蔵されるロシア・サントペテルブルクの研究所にて。北海道の歴史を考えるには、国際的な共同研究も欠かせません。



初めて野生のタンチョウを見たとき、文字や絵で表現された「鶴」の姿とはまた違う、生き物としての存在感に改めて魅了されました。

日本史学研究室

谷本 晃久 教授

TANIMOTO Akihisa

谷本先生の研究テーマは何ですか？

近世日本（江戸時代）の社会史に取り組んでいます。とりわけ「蝦夷地」と呼ばれた北海道・千島列島・サハリンをフィールドとしていますから、主体的なアイヌ史の構築にも関心を向けています。素材は主に和文の古文書ですが、その所在は世界各地に及んでいるため、近年はロシアとの共同研究を進めています。

## 学問の「消費者」から「生産者」へ。 自らの足元の歴史を掘り下げることから、みえてくる地平がある。

「日本史」という枠組みは、高校の科目にもありますから、皆さんにとって馴染みが深い分野でしょう。高校で「日本史」を履修しなかった方でも、小学校・中学校の「歴史」の授業で、日本史に関する内容は必ず学習したはずですよ。

いま、「学習」という言葉を使いましたが、大学で学ぶ日本史は、決められた教科書をきっちり覚える学習とは、ちょっと違います。求められるのは、課題を自ら設定し、信頼のできるソース（史料）を専門的な手法で分析を行ない、客観的な論拠を提示し叙述する姿勢です。いわば、成果品を享受する「消費者」から、消費に耐える商品を提供する「生産者」への転換です。

私は現在、「近世蝦夷地在地社会の研究」を看板に、仕事を進めています。江戸時代の北海道・サハリン・千島列島に結ばれた社会の構造を、古文書を素材としながら日々分析を進めています。…とこう書くと、ローカルな郷土史研究だなあ、と思う方もあるかもしれません。ただ、世界中どこをみわたしても、社会史研究は、ローカルな事例を深く具体的に分析することから始まるものです。

江戸時代の北海道を例にとると、そこには、アイヌ語を母語としアイヌ文化を自らの文化とした集団と、日本語を母語とし和風文化を自らの文化とした集団とが織りなした、独特の社会秩序が息づいていたことに気づきます。異文化に属する集団の存在を前提とした、相互に交流と軋轢を抱えながらの社会が、つい150年ほど前の北海道にはあったわけです。

異文化理解や民族紛争といえば、どこか遠い世界へ出かけて行かなければ直視できない課題と思われがちですが、このように、自らの足元を見つめ直すことで、考えをめぐらせていくこともできるわけです。もちろんそれは、北海道や日本の社会の抱える、アイヌの人びとをはじめとした方々との民族共生や和解のありかたの模索といった現代的課題へ、歴史的にアプローチすることにも通じていきます。

このように、北海道の歴史には、大きな課題解決のヒントが豊富に含まれています。あなたも、地道に古文書を解読しつつ、「生産者」としてその鉱脈を探してみませんか？



音威子府村にて。背景は天塩川。道内各地での史料調査は、研究の基本です。

### 略歴

- 1993年 学習院大学文学部卒業
- 1998年 同大学大学院人文科学研究科博士後期課程中退
- 1998年 同大学文学部助手
- 2000年 北海道教育大学若見沢校助教

- 2007年 同大学札幌校准教授
- 2008年 北海道大学大学院文学研究科准教授
- 2018年 同教授
- 2019年 改組により北海道大学大学院文学研究院教授（現在に至る）

※現在、アイヌ・先住民研究センター兼務教員・附属図書館調査研究室員（北方資料担当）を併任

博物館学研究室

久井 貴世 准教授

HISAI Atsuyo

久井先生の研究テーマは何ですか？

鳥類学を軸に関連する諸分野をつなぎ、様々な資料から鳥類をめぐる歴史を探る研究を「歴史鳥類学」と位置づけて、研究に取り組んでいます。江戸時代のツルが専門ですが、近代日本の動物園における動物管理の歴史や、アイヌ民族と動物との関わりなどにも関心を向けています。

## かつてどのように生息し、人とどう関わってきたか 文理融合の視点で明らかにする野生動物の「歴史」。

皆さんは、野生動物の「歴史」について考えたことはありますか？札幌では近年、ヒグマやエゾシカなどの野生動物の話題に触れる機会が増えていますが、たとえば江戸時代の北海道では、彼らはどこで、どのように生きてきたのでしょうか。動物自身はその記録を残すことはできませんが、過去の動物の姿を知るための手がかりは、様々な歴史資料のなかに残されています。

私は鳥類のツルを専門に研究を行っています。ツルといえば、北海道では道東を中心に生息するタンチョウが有名ですが、実はタンチョウは、明治時代頃までは札幌にも生息していました。「昔はこんな場所にもタンチョウがいたのか！」そんな驚きがこの研究を始めるきっかけでした。

野生動物に関する歴史を解明するためには、古文書や絵画資料など、あらゆる歴史資料から動物に関する記録を探し求める必要があります。同時に重要になるのが、野生動物そのものについての知識や観察経験です。生き物としての野生動物の生態や行動を知らなければ、資料上の動物の記録を正しく読み解くことができないからです。過去の記録と現在の知識を素材として、分布や生態、行動など「野生動物自身の過去の実態」と、狩猟や保護、人との軋轢、食文化など「動物と人との関わり」の二つの側面から、野生動物に関する歴史を紐解いていきます。

ツルを例にとると、江戸時代の日本列島には全国各地にツルが生息していたことや、オオタカやハヤブサなどの猛禽類を使ったツルの狩猟（鷹狩）が行われていたこと、ツルを塩漬にした「塩鶴」が珍重され、ツル料理は最上級のおもてなしだったことなど、現代では考えられないよう

な興味深い事実が次々と明らかになります。このように明らかにした研究成果は、現代社会におけるツルと人との関わりの問題を考えるうえで、有効に活用されています。

野生動物の研究は理系分野のものと思われがちですが、決してそんなことはありません。「文系だけ動物に関わる研究がしたい」、「文系・理系の枠を超えた研究がしたい」という皆さん。皆さんの豊かな発想と熱意で、野生動物に関する歴史を解き明かしてみませんか。



自然と集まってくるツルグッズ。着用のジャケットもツルの刺繍入り！

### 略歴

- 2009年 酪農学園大学環境システム学部生命環境学科卒業
- 2011年 北海道大学大学院文学研究科修士課程修了
- 2016年 北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了
- 2016年 公益財団法人日本生態系協会専門研究員
- 2018年 特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所研究員
- 2019年 日本学術振興会特別研究員PD 北海学園大学
- 2020年 北海道大学大学院文学研究院准教授（現在に至る）



アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーの草稿調査を行ったニューヨーク公共図書館とその外観。



静内研究牧場の初夏の様子。広大な草地でのびのびと暮らすウマのコミュニケーション行動を朝から日暮れまで観察している。

欧米文学研究室

## 竹内 康浩 教授

TAKEUCHI Yasuhiro

竹内先生の研究テーマは何ですか？

19世紀以降から現代までのアメリカ文学を研究しています。最近、作品中の未解決殺人事件や奇妙な自殺に注目して、マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』、J. D. サリンジャーの『ナイン・ストーリーズ』などを読み解き、日本語と英語で研究成果を発表するよう努めています。

## マーク・トウェインたち米文学作家が執着した正解のない問いかけから目を背けずに生きていく。

文学とは何なのでしょう。子供の頃から本を読むのが好きならば、あらためてその意味を問うまでもなく、文学は大切なものなのでしょう。そうでない人たちが文学と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、国語の授業かもしれません。恥ずかしながら私自身も、国語の教科書のおかげで宮沢賢治の『永訣の朝』や夏目漱石の『こころ』に初めて触れることが出来ました。どちらも気持ちを揺さぶられながら読みましたが、国語は教科なのでそれだけでは済まされません。テストがあります。そして、多くの人と同じように私も不満に思っていました——国語には決まった答えがないじゃないか！

それは国語が苦手な人の負け惜しみのようにも聞こえます。けれど、今思えば案外その不満は文学の本質を突いているような気がします。少なくとも文学の研究とは、そもそも答えが出ない問題について考え続けることのようにも思うのです。

宮沢賢治も夏目漱石も、解決が不可能な問題に取り憑かれていたのではないのでしょうか。『永訣の朝』は、賢治の妹が亡くなった直後に書かれた詩ですが、そもそも人の死に解決策はありません。人は必ず死にます。これから先どんなに理想的な社会が建設されようと、そこでどれほど人が幸福に生きようと、死の問題は残り続け、人は苦悩するでしょう。『こころ』では親友に対する主人公の罪の意識が描かれますが、罪もまた（法的には償えても）本質的には解決できないのではないのでしょうか。罪によって失われたものと償いによって返済されたものは、実は別のものなのですから。よく考えてみて下さい。



著書Mark Xが批評部門の候補となったエドガー賞の晩餐会で

なんだか授業のようになってしまいました。このような問題への関心が私の研究の根底にあります。私が専門にしているアメリカ文学の作家も——『トム・ソーヤの冒険』のマーク・トウェインも、『グレート・ギャツビー』のスコット・フィッツジェラルドも、『ライ麦畑でつかまえて』のJ. D. サリンジャーも——それぞれにとって根源的な問題に執着し続けています。それはおそらく、答えがないからといってそこから目を背けては、誠実に生きることは不可能だからではないのでしょうか。



### 略歴

1990年 東京大学文学部卒業  
1993年 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了  
東京大学文学部助手  
1995年 一橋大学教養部専任講師  
2000年 同助教授

2003年 奈良女子大学大学院人間文化研究科助教授  
2008年 北海道大学大学院助教授  
2014年 同准教授を経て、同教授  
2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授（現在に至る）

行動科学研究室

## 瀧本 彩加 准教授

TAKIMOTO Ayaka

瀧本先生の研究テーマは何ですか？

さまざまな動物のこころを調べて比較し、その動物らしさを明らかにしながら、こころがどのような道筋を経て進化してきたのかを探る研究、比較認知科学・動物心理学を専門としています。最近では特に、仲間と絆を築いたり、仲間を思いやったりするような「仲間とかかわるこころ」についての研究に力を入れています。

## よく見て、感じて、考えて 客観的かつ説得的な証拠を集めて、動物のこころを科学する。

皆さんは「動物は何を感じ、考えているのだろう」と不思議に思ったことはないですか。私の場合、大学で馬術部に入部し、毎日ウマと一緒に過ごす中で、そんな疑問が自然と湧いてきました。それが動物の心理学の世界に足を踏み入れたきっかけでした。

私が研究してきたウマやフサオマキザルは、仲間とかかわり合いながら暮らす動物です。ウマはまた私たち人間と古くからともに暮らし、親密な関係性を築き上げてきました。私は、彼らが他者とかかわり合いながら育んできたこころを観察・実験によって調べ、その進化の道筋を探っています。

ただ、動物のこころを理解するというのはなかなか大変な作業です。動物の行動は見ればわかりますが、こころは中をのぞくことも「どう思っているの？」と尋ねて聞き出すこともできないからです。言葉に頼らずに動物のこころを明らかにするには、行動からそれを支えるこころを推測するしかありません。重要なのは観察力・想像力・発想力です。私たちはとにかく動物の行動をよく観察します。彼らの行動は実に多様で個性に富み、今でも日々驚かされるほどで、見ていて飽きません。興味深い行動を見つけたら、そのこころの中に思いを馳せ、例えば、「仲間の手助けをするのは見返りを期待しているからだろう」と仮説を立てます。その仮説を証明するために、観察・実験を通して客観的な証拠を集めます。その際、いかに「目に見えないこころを行動としてうまく引き出し、仮説以外の説明を排除できる洗練された方法」を考案できるかが研究者の腕の見せ所です。

動物たちのこころにはまだまだ謎が潜んでいます。名探偵になったつもりでその謎と一緒に解き明かしてみませんか。



フサオマキザルの食べ物の分配実験場面。右側の分配者は、左側の受け手に対して、大好きなピーナッツを与えるかどうかを決めることができる。受け手との関係性や場面を細かく変えてどんな要因が分配に影響するかを調べる。



### 略歴

2007年 京都大学文学部卒業  
2009年 日本学術振興会特別研究員DC1 京都大学  
2012年 博士(文学) 京都大学  
日本学術振興会特別研究員PD 東京大学  
2015年 北海道大学大学院文学研究科准教授  
2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科准教授（現在に至る）

## 入試関連情報

文学部に進学するための入試は以下のとおりです。

|            |        |      | 募集人員  | 令和5年度試験日   | 試験科目         |
|------------|--------|------|-------|------------|--------------|
| 一般選抜       | 総合入試文系 | 前期日程 | 100名* | 令和5年2月25日  | 国、地歴・数、外     |
|            | 学部別入試  |      | 118名  |            |              |
|            |        | 後期日程 | 37名   | 令和5年3月12日  | 小論文          |
| 帰国子女入試     |        |      | 若干名   | 令和4年11月20日 | (二次)課題論文、面接  |
| 私費外国人留学生入試 |        |      | 若干名   | 令和5年2月17日  | (二次)小論文、面接ほか |

※一般選抜(前期日程)では、総合入試文系と文学部のいずれを受けても試験科目は同じです。ただし、定員・倍率・合格最低点などは異なります。総合入試文系で入学した学生は、2年次進級時に法・経済・教育・文学部のいずれか(理系学部も可)に移行しますが、学部ごとに移行人数が定められており、文学部へは30名が移行します(所属学部は本人の志望と入学後の成績に基づいて1年次終了時に決定します)。文学部一般選抜後期日程では、「小論文」のみを課します。

文学部では総合型選抜、学校推薦型選抜、編入学試験は行っていません。

一般選抜(後期日程)に総合入試はありません。総合入試文系、文学部前期日程、文学部後期日程のいずれの試験に合格して入学しても、文学部に進級する場合、履修する授業や必要な単位などの条件は特に変わりありません。ただし、1年次のクラスは総合入試文系での入学者と学部別入試の入学者で異なります。詳細および最新情報は「募集要項」のほか、以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ→「入学案内」 <https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

## インターネットで北海道大学や文学部の情報を!

### ウェブサイト

文学部に関する総合情報はここに。知りたいことの詳細情報は公式サイトをご覧ください。



<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

### Twitter

教育研究情報、学内行事など学生向け情報を中心に更新。緊急時の情報共有メディアとしても利用します。



[https://twitter.com/HU\\_Bungaku](https://twitter.com/HU_Bungaku)

### Instagram

文学部の魅力を画像で発信。教育研究情報、イベント情報のほか、北大の豊かな自然環境も満載です。



[https://www.instagram.com/hu\\_bungaku/](https://www.instagram.com/hu_bungaku/)

### Facebook

教員や学生の研究成果や研究活動を中心に情報を発信しています。



<https://www.facebook.com/Hokudai.Humanities.HumanSciences/>

## 学生サポート情報

### 入学科・授業料減免

入学科、授業料の納入が困難な学生に対して、入学科の全額または半額、授業料の全額、半額もしくは4分の1を減免または徴収を猶予する制度があります。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ  
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[入学科・授業料]

参考:

令和4年度入学科 282,000円  
令和4年度授業料 年額535,800円

※金額は改定されることがあります。

### 奨学金

北海道大学で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方自治体等奨学団体の奨学金があります。奨学金は種類によって返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」とに分けられます。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ  
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[奨学金]

### 国際交流支援

文学院・文学部では留学生受入、在学留学生の支援、学生の海外派遣など国際交流に関わる業務を行っています。また、文学部の学生が、協定校に交換留学する際の相談受付や留学先の情報提供、申請手続きの支援、協定校との仲介、留学中の情報交換なども行っています。留学に関心のある人はお気軽に文学事務部・教務担当窓口にお越しください。



◀[文学院・文学部留学ガイドブック]を配布しています。

### 国際交流担当教員

ラフェイ ミシェル 教授 LA FAY Michelle

■ 研究分野

日本におけるプロテスタントキリスト教、内村鑑三

### 学生相談室

学生生活の中では様々な不安や悩みを抱えることがあります。学生相談室では、その様な時に専門のカウンセラーが、みなさんの話を聞き、適切なアドバイスを行います。北海道大学全体の相談室の他に、文学部の建物内にも学生向けの相談室を設けています。

北海道大学 学生相談室

北海道大学トップページ

→[学生生活]→[キャンパスライフサポート]

→[学生相談総合センター学生相談室]

文学部 学生相談室

文学部トップページ

→[総合]→[学生生活]→[学生相談室]



▲文学部学生相談室

### 保健センター

北海道大学には、学生の保健衛生及び保健指導を行う保健センターがあります。専門医・カウンセラーによる健康相談と応急的な診療の他、定期健康診断や健康診断書・健康診断証明書の発行などさまざまな支援を無料でを行っています。

北海道大学 保健センター

<https://www.hokudai.ac.jp/hoken/>

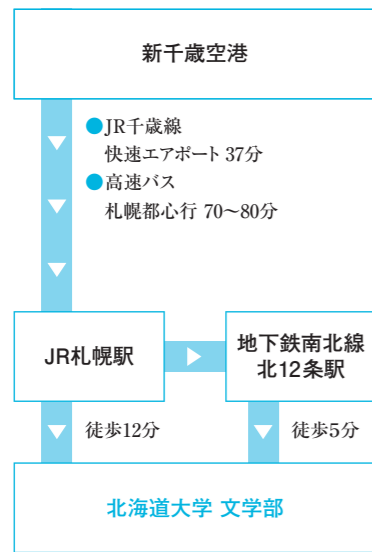
### キャリアセンター

就職活動をはじめ、学生ひとりひとりのキャリアデザインを支援し、社会人としての自立のサポートをします。就職ガイダンスや就職相談の他、インターンシップ支援、公務員受験支援、教員採用試験支援なども行っています。

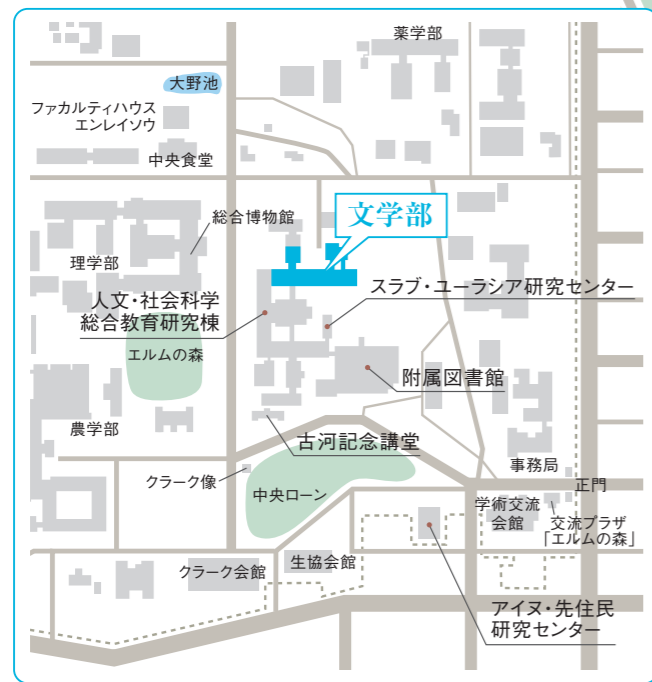
北海道大学キャリアセンター

<https://cc.academic.hokudai.ac.jp/>

Access



文学部周辺地図



国立大学法人  
**北海道大学 文学部**  
 〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目  
 連絡先 文学事務部教務担当  
 電話 011-706-3005 / 011-706-3004 (直通)  
 URL <https://www.let.hokudai.ac.jp/>  
 School of Humanities and Human Sciences, Hokkaido University  
 Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0810 Japan

- 制作・発行 北海道大学 大学院文学研究院
- 企画・編集 株式会社スペースタイム
- 編集担当 吉開将人、宮園健吾、菅井健太、金子沙永 (広報誌専門部会)
- デザイン 株式会社デクスター / 小杉充司
- 森岡和子、飯塚理恵 (研究推進室)

■本誌に掲載されている情報は2022年7月現在のものです。■本誌の無断複写(コピー)・転載は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

